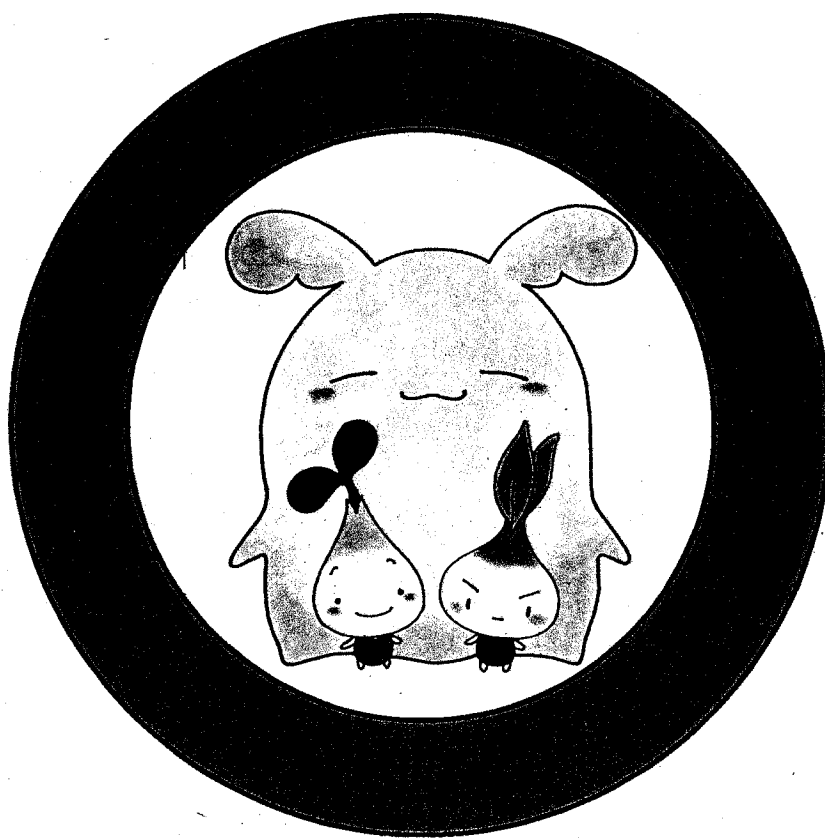


**令和4年度新宿区協働推進基金助成金
一般事業助成
公開プレゼンテーション**



令和4年6月27日（月）

プレゼンテーション会場：新宿区役所本庁舎6階 第2委員会室
傍聴席兼待合室：新宿区役所本庁舎6階 第4委員会室

新宿区地域振興部地域コミュニティ課管理係

☆助成金の目的☆

新宿区では、地域課題を解決し区民の生活をよりよくするために、社会貢献活動への協働推進基金を活用した助成を通じて、NPO等(特定非営利活動法人・ボランティア団体等)団体が安定した事業活動を行うための支援を行います。

協働推進基金とは？

区民及び事業者等からの寄附金を積み立て、助成を行うことで、協働による地域社会づくりの推進するために、平成16年度に設置した基金です。

☆助成対象活動☆

区民の福祉の向上を目的とした社会貢献活動で、NPO等の特性を活かして、新宿区の地域課題や社会的課題の解決を目的とし、区民の社会貢献活動の啓発に寄与する事業に助成を行います。

☆助成対象団体☆

特定非営利活動法人(NPO法人)やボランティア活動団体等の営利を目的としない団体を対象としています。

☆助成金の額☆

助成額は1事業あたり上限50万円で助成対象経費の2/3までを助成します。

同一または継続性のある事業については3回まで助成が可能で、2回目以降の助成率は、助成対象経費の1/2までです。

新型コロナウイルス感染症対策経費は上限2万円まで、助成率10/10で助成します。

(※助成金に上乗せするものではなく、50万円に含みます。)

令和4年度予算総額は200万円です。

1 プログラム

13時45分 開会

13時50分 新宿区協働支援会議座長挨拶・委員紹介

14時00分 プレゼンテーション実施要領説明

14時05分 プレゼンテーション開始

* プレゼンテーション進行予定時間

1 水俣フォーラム	14:05
2 日本吃音協会	14:40
3 10代・20代の妊娠SOS新宿ーキッズ&ファミリー	15:15

15時40分 終了予定（※進行予定時間は前後する場合があります。）

2 プレゼンテーション実施団体及び事業概要

プレゼンテーション実施順

No.	団体名	事業名	助成申請事業概要	ページ
1	認定 NPO 法人 水俣フォーラム	水俣病の経験から 考える環境問題	① 主な対象 新宿区民をはじめとする社会一般 ② 目的 水俣病事件という具体的な経験を通して、 区民らの環境配慮行動の促進を図る。 ③ 活動内容 ・講演会「水俣病から“今”を考える（仮）」 3回/年(9,10,11 月実施予定) 会場及びオンライン開催	申請書類 P5～P13 プレゼン資料 P14～P21
2	NPO 法人 日本吃音協会	吃音に理解のある 地域共生社会	① 主な対象 新宿区内の吃音の子供たちやその家族 ② 目的 吃音を持つ子供たちや両親が気軽に相談で きる相談体制の強化や、相談窓口の充実と 地域住民の吃音理解への啓発活動を行う。 ③ 活動内容 ・吃音なんでも相談団（仮名称） ・吃音を知るための啓発ブースの開設・交流会 いずれも 3 回/年、会場及びオンライン開催	申請書類 P23～P36 プレゼン資料 P37～P42
3	NPO 法人 10 代・20 代の妊 娠 SOS 新宿ー キッズ&ファミリ ー	歌舞伎町夜間パト ロールと相談所事 業	① 主な対象 歌舞伎町を徘徊する 10 代から 20 代前半の 若年女性 ② 目的 家や学校・地域に居場所をなくし、歌舞伎町 で生活せざるを得ない若年女性を、あらゆる 犯罪から守り、必要に応じた支援につなげ、 生活の立て直しを支える。 ③ 活動内容 ・歌舞伎町夜間パトロール及び無料相談所開所 及び相談支援 79 回/年(毎週金・土曜日開催)	申請書類 P43～P56 プレゼン資料 P57～P63

☆ご協力をお願い☆

アンケートを配布しています。今後の事業実施にあたって参考とさせていただきますので、是非ご協力をお願いします。

ご協力いただいた方にはもちろん、表紙にもなっている基金キャラクターのボールペンを贈呈!! お帰りの際にアンケート回収ボックスへ入れてください。

令和4年度一般事業助成・プレゼンテーション概要

1 日 時 令和4年6月27日（月）午後1時45分から午後3時40分まで

2 場 所 プレゼンテーション会場 新宿区役所本庁舎 6階 第2委員会室
傍聴席兼待合室 新宿区役所本庁舎 6階 第4委員会室
(新宿区歌舞伎町1-4-1)

3 プレゼンテーションの実施内容

- (1) プレゼンテーションは公開とし、傍聴席兼待合室で傍聴できます。
- (2) 傍聴者は、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴者カードにお名前とご連絡先を記入し、提出してください。必要に応じて保健所などに情報を提供する場合があることをご了承ください。
- (3) プレゼンテーションの登壇可能人数は、1団体3名以内とします。
- (4) プレゼンテーションの方法は自由とします。
会場には、パソコン、プロジェクター等の機器を設置しています。事前にパワーポイント等の利用を申し出た団体のみ、パワーポイント等を利用できます。
- (5) プレゼンテーション実施順番に不在の団体は、評価対象から除外させていただきます。
- (6) 1団体の発表時間は10分とします。
- (7) 委員からの質問時間は15分程度とします。
- (8) 評価方法は、プレゼンテーションの内容及び申請書類に関する質疑応答に基づき評価いたします。

なお、評価委員の質問内容及び評価項目には、申請時にご提出いただいた全ての書類（団体活動資料等の参考資料部分は、事務局で内容を精査して適量を添付しています。）の内容を含みます。

4 助成の決定

助成団体の交付申請結果通知書は6月30日（木）（予定）に送付します。
助成決定団体は、区のホームページ上でも公表します。

事業計画書

団体名	認定 NPO 法人 水俣フォーラム
事業名	水俣病の経験から考える環境問題
① 事業目的・概要	ア 事業目的 新宿区との連携によって、水俣病事件という具体的な経験を通して、区民らの環境配慮行動の促進を図る。
	イ 事業概要 本事業では、今まで水俣病の経験に触れてこなかった、新宿区民をはじめとした社会一般を対象に、水俣病事件をわかりやすく伝える講演会を開催する。講師による講演2時間のプログラムを3回実施する。毎回異なる講師を招くことにより、水俣病事件を多角的に捉え今日の環境を中心とした問題を考える契機を提供する。
② 地域課題・社会的課題	本事業申請団体水俣フォーラムが事務所を置く新宿区は、「環境基本法」や「新宿区環境基本条例」第7条の規定に基づき、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に進めるため、2018年から27年までの10年計画として「新宿区第三次環境基本計画」を策定している。「誰もがわかりやすく実践しやすい取組を設定し、区民・事業者・区の各主体が積極的に環境配慮行動に取り組むことができる」（冊子『新宿区第三次環境基本計画』内「持続可能な環境都市・新宿の実現に向けて」（添付資料①）より引用）よう個別目標も設定しており、その一つに「多様な主体の連携による環境活動と環境学習の推進」を掲げている。 この計画の策定にあたって実施した区民及び区内の事業者を対象とした意識調査から以下の3点が明らかになった。第一に、「地域や NPO などによる主体的な環境活動とネットワーク化」の重要度について、6割強が「とても重要である」「やや重要である」と回答している一方、その対応状況については「進んでいる」「どちらかといえば進んでいる」が約1割にとどまっている（同冊子 P83, 84（添付資料②③））。第二に、「有害汚染物質（有害化学物質、放射能等）対策」について約3割が「満足」「どちらかといえば満足」と回答しているが、それ以上に「わからない」が4割近くを占めている（同冊子 P86（添付資料④））。第三に、新宿区への要望について、「学校や地域での環境教育・学習の推進」を回答数 677 件のうち 183 件（複数回答可）と、約3割が挙げている（同冊子 P86（添付資料④））。 以上3点より、区民らは地域や NPO の協働の重要性や地域での環境教育等の要望を感じている一方、それらの活動について十分に行われているとは感じておらず、また、有害物質による汚染への関心が高いとは言えないことがわかる。これらを踏まえて、環境教育とりわけ公害に関する教育を、区民らをはじめとする社会一般に普及していく必要があるといえる。

③ 活動内容 (イベントが複数ある場合は、こちらのページを複写して作成してください)	I. イベント(会議)名:(水俣病から“今”を考える(仮))
	ア イベント(会議)の開催予定等
	活動内容: 水俣病事件に関する平易な講演をプログラムとした講演会を開催する。 実施期間: R 4 年 8 月 ~ R 5 年 3 月 (9・10・11月を予定) 実施回数: (3) 回/年 実施場所: オンラインと会場 (常円寺祖師堂(新宿駅西口より徒歩4分)) 1週間の見逃し配信有。
	イ 対象者及び参加予定人数
	対象者: 新宿区民をはじめとする社会一般 参加予定人数: のべ (450) 名 1回あたり来場50名、オンライン100名の参加を想定。なお、オンラインには視聴人数の上限はない。
	ウ 周知
<媒体> ☐ ポスター ☒ チラシ ☒ HP ☒ その他 (Twitter、Facebook) <周知先> ☒ 区施設 (特別出張所、地域センター等) ☒ 区直営掲示板 ☐ その他 ()	
エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載)	
団体構成員 (4) 名 講師等 (3) 名 アルバイト (2) 名 ボランティア (10) 名	
④ 安全対策等 (箇条書きで ご記入ください)	ア 事業実施にあたっての具体的な安全対策
	・オンライン配信用機材の破損等ないように、十分に配慮して開催に臨む
イ 新型コロナウイルス感染症対策	
・運営スタッフと来場参加者のマスク着用を徹底する ・受付時に検温と手指消毒をする ・会場の窓を極力開けておき、換気に努める ・席は距離をあけてセッティングする ・来場参加は事前申込制として来場予定人数を把握しておく ・申込時に名前と連絡先を聞き、クラスターが発生した場合に備える	
⑤ 期待される効果	ア 区民や地域社会への成果・効果
	本事業の講演会への参加だけでなく、チラシ発送のための封入作業や広報、資料整理、会場運営などにボランティア参加を新宿区在住の会員会友らに呼びかけることで、地域住民とNPOの協働を活発にする。
イ 現状や課題に対する成果・効果	
水俣病事件という具体的な経験を通して区民らの要望する「地域での環境教育・学習」を行うことで、有害汚染物質の問題を含む今日的課題に目を向ける契機をつくり、区民らが積極的に環境配慮行動に取り組むようになると期待している。	

⑥ 先駆性・専門性	本事業は、今まで水俣病にあまり触れてこなかった方に向けた講演会であるため、映像資料や講師、講演内容を慎重に選定する必要がある。水俣フォーラムは設立以来25年にわたる活動の中で、広く一般の人たちを対象にした展覧会や講演会の実施、多くの協力者たちとの関係構築、書籍や映像資料の収集を続けてきた。それらの経験や資料の蓄積から、本事業に合った映像資料や講師を選定することができ、さらに本事業で水俣病に関心をもった人々へのさらなる機会の提供も可能である。
⑦ 今後の展望	水俣病事件の風化が危惧される中、「二度と繰り返さないでほしい」という患者さんの思いに応えるために、今後若い世代や海外の人々にも水俣病の経験を伝えていく必要がある。本事業は、属性の枠がなく一般を対象にしているが、今後は特に若い世代や海外の人々への普及啓発も視野に入れた活動を進めていく。

⑧ 過去にこの助成を受けた実績	助成年度（平成19年度） 事業名（初学者のための水俣病講演会（はじめて出会う水俣病）の実施）
	助成年度（ ） 事業名（ ）
	助成年度（ ） 事業名（ ）
⑨ この事業に対する他の助成の有無 （申請中のものを含む）	☐ 有 ☒ 無
	有の場合は、助成名称（団体）及び助成額 助成名（団体名）： 助成額： 円 ※新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。本助成金への申請後に、同事業で新宿区外の補助金へ申請される際は、必ずご相談ください。

持続可能な環境都市・新宿の実現に向けて

区では、環境宣言都市にふさわしい新宿区を築いていくため、平成15年度に「新宿区環境基本計画」を策定しました。平成19年度には計画を改定し、「地球温暖化・ヒートアイランド現象を防ぐ」を新たに基本目標に加えています。

また、平成23年3月には、「地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）」にある「新宿区地球温暖化対策指針」を策定し、温暖化施策の一層の推進に努めてきました。さらに、平成25年2月には、目指すべき環境都市像を「地域資源を活かし、区民・事業者・区が一体となつてつくる持続可能な環境都市・新宿」と設定した「第二次環境基本計画」を策定しました。

「第二次環境基本計画」では、東日本大震災の影響によるエネルギー施策に関する区民意識の変化を捉え「地域特性に応じたエネルギーの確保と効率的利用の推進」を基本目標の一つとして掲げ、省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの活用に努めてきたところです。

この「第三次環境基本計画」は、最上位計画である総合計画と足並みを揃えて策定し、上位計画においても環境施策をしっかりと位置付けるとともに、「新宿区地球温暖化対策指針」を統合し、区の温暖化対策を一本化することで総合的かつ計画的に推進できるようにいたしました。

また、個別目標ごとに、誰もがわかりやすく実践しやすい取組を設定し、区民・事業者・区の各主体が積極的に環境配慮行動に取り組むことができるようしています。

策定にあたっては、平成28年7月に環境審議会に諮問し、審議会において熱心な審議が行われ、平成29年12月に答申をいただきました。

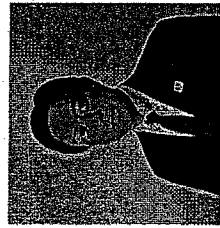
策定に向けたパブリック・コメント（意見公募）及び地域説明会では、区民の皆様から多くのご意見をいただき、計画策定の参考とさせていただきます。ご協力いただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。

今後とも、持続可能な環境都市・新宿の実現に向けて、これまで以上に区民・事業者・区が協働・連携して、環境への取組の環を地域へ広めてまいりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成30年2月

吉住 健一

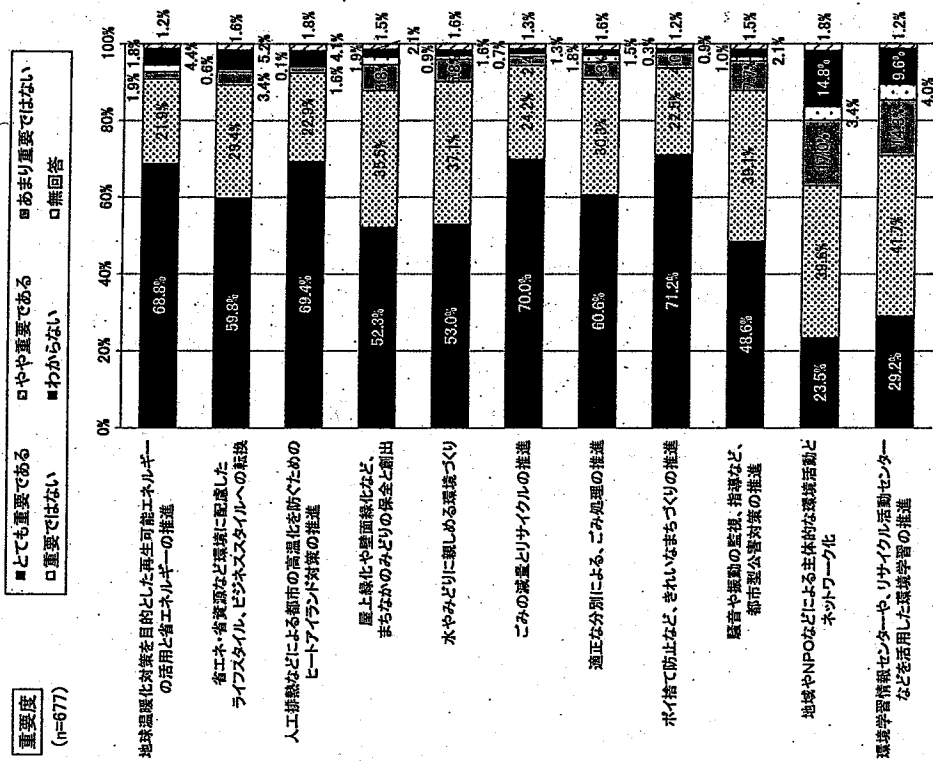
新宿区長

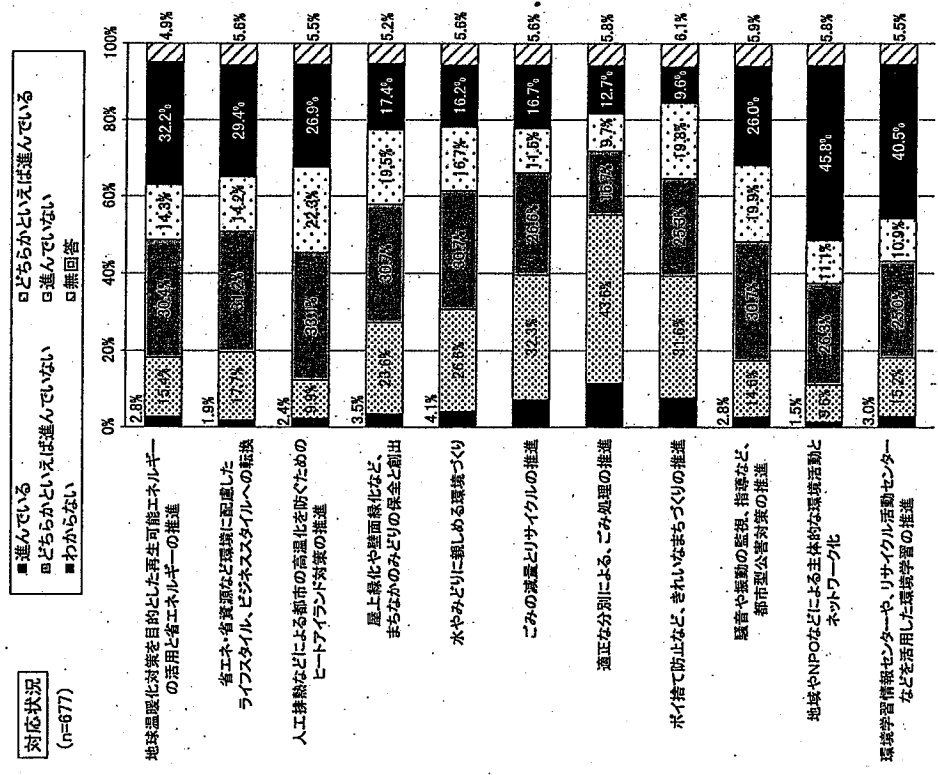


(1) 区民アンケート

① 新宿区の環境に関する課題

区の環境に関する課題の重要度については、「とても重要である」「やや重要である」「やや重要である」を合わせた値がほとんどの項目で回答者の8割台半ばを超えています。対応状況については、「進んでいる」「どちらかと言えば進んでいる」を合わせた値が「適正な分別による、ごみ処理の推進」で5割台半ばと比較的高かった以外は、ほとんどの項目で40%未満でした。





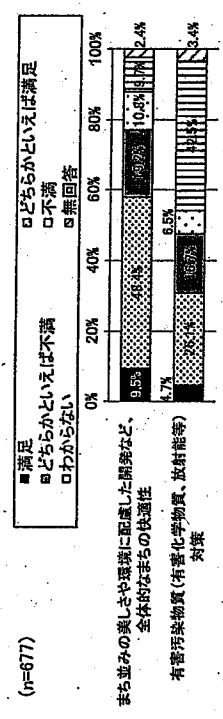
② 地域での環境活動への参加について

地域での環境活動への参加について、今後参加したい環境教育・環境学習の機会としては、「家庭の省エネ・節電等、暮らしに役立つエネルギーに関する講座やイベント」と回答した人が最も多く、次に「長野県伊那市、群馬県沼田市、東京都あきる野市に開設している「新信の森」を活用した自然体験ツアー」「ごみの減量・分別等、暮らしに役立つごみに関する講座やイベント」「区内で実施する自然観察・自然体験」が続いています。

⑤ 新宿区第二次環境基本計画の進捗確認について

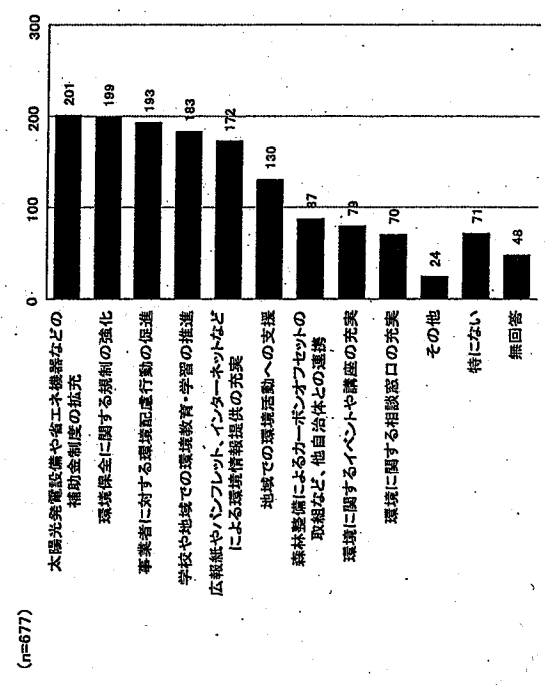
第二次環境基本計画の環境指標について、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計は、「まち並みの美しさや環境に配慮した開発など、全体的なまちの快適性」が5割半ばを超え、「有害汚染物質（有害化学物質、放射能等）対策」が約3割でした。「有害汚染物質（有害化学物質、放射能等）対策」は「わからない」が4割強に上りました。

第二次環境基本計画策定時のアンケート結果と比較すると、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計は、「有害汚染物質（有害化学物質、放射能等）対策」は横這いですが、「まち並みの美しさや環境に配慮した開発など、全体的なまちの快適性」は2割近く増加しました。



⑥ 新宿区への要望について

区への要望について、「太陽光発電設備や省エネ機器などの補助金制度の拡充」の回答が最も多く、「環境保全に関する規制の強化」「事業者に対する環境配慮行動の促進」「学校や地域での環境教育・学習の推進」が続きました。



収支予算書

費 目		予算額	内 訳
事業費	①使用料及び賃借料	30,000 円	常円寺祖師堂使用料 10,000 円×3 回=30,000 円
	②消耗品費及び印刷費	85,000 円	チラシ印刷代(A4 両面モノクロ) 15 円×5,000 枚=75,000 円 コピー用紙・トナー・ペン類等事務用品購入代 10,000 円
	③委託費	33,000 円	チラシデザイン代 33,000 円×1 種=33,000 円
	④講師謝礼	120,000 円	講師謝礼(講演分) 20,000 円×3 回=60,000 円 講師交通費(東京⇄水俣など往復分) 20,000 円×3 回=60,000 円
	⑤その他謝礼	10,000 円	ボランティア交通費 1,000 円×10 人=10,000 円
	⑥交通費	140,000 円	打合せ交通費 35,000 円×2 日×2 人=140,000 円
	⑦保険料	円	
	⑧その他諸経費	339,900 円	郵送代 94 円×3,000 通=282,000 円 Wi-Fi レンタル代 2,000 円×3 回=6,000 円 オンラインチケット販売委託手数料 173 円×300 人=51,900 円
	⑨新型コロナウイルス感染症対策経費	1,000 円	手指消毒液代 1,000 円
	⑩人件費	252,966 円	(団体構成員分)・16,800 円/日×10 日=168,000 円 ・12,250 円/日×10 日=122,500 円 ・9,100 円/日×10 日=91,000 円 ・7,350 円/日×10 日=73,500 円(アルバイト分) ・7,000 円/日×2 人×10 日=140,000 円 ※595,000 円のうち、342,034 円は助成対象外事業費へ
事業費(①から⑩の合計)		1,011,866 円	
⑪ファンドレイジングに関する経費		円	
⑫助成対象経費(事業費+⑪)		1,011,866 円	
⑬助成対象外経費		342,034 円	
事業総額		1,353,900 円	
収入区分	内 容	予算額	積算根拠(内訳)
	①事業収入(参加費、資料代等)	675,000 円	講演会参加料(会場)1,500 円×50 人×3 回=225,000 円 (オンライン)1,500 円×100 人×3 回=450,000 円
	②寄附金等	100,000 円	会員会友による寄附金収入
	③補助金収入	円	
	④協働推進基金助成金	500,000 円	
	⑤団体負担金	78,900 円	
収入総額		1,353,900 円	

命に向き合う

2days水俣病講演会

水俣病は海外でも環境汚染のシンボルですが、世界中で知られるようになったのは、ユージン・スミスとアイリーンの写真レポートによります。読んでショックを受けたジョニー・デップによりハリウッド映画ができたのは、この事件が今でも全人類にとって重要な問題だからです。水俣が注目される今「何があったのか」に2日連続で迫ります。水俣フォーラム

グリーンコープは1960年代公害が問題になり始めた頃「安心・安全な食べものを子どもに食べさせたい」と願う母親が集まり作られました。「生命をなにより大切にしたい」を理念に活動するグリーンコープにとって水俣病は原点です。なぜ水俣病が起きたのか、国や企業の責任を問うだけでなく私たちの暮らし方を一緒に考えましょう。グリーンコープ

日時 2021年11月7日(日)・8日(月) 午後2時～4時30分(1時30分開場)
会場 西南コミュニケーションセンター(西南学院大学内)
YouTube ライブ配信(見逃し配信有)

7日 現代の命の"処遇"を福島と水俣に見る
講師 緒方正人(医師・水俣病患者)
山田真(小児科医)

8日 水俣病の今日的な基本を分かりやすく
映画「水俣病—その20年」
講師 実川悠太(水俣フォーラム)

入場料(ライブ配信とも) 一般≒当日1500円・前売1200円
20代以下≒当日900円・前売600円
グリーンコープ組合員≒無料(全席自由)

主催 グリーンコープ水俣フォーラム
共催 西日本新聞社・西南学院大学(〒812-0014)

講師



緒方正人 おめた まさと
医師・水俣病患者。1953 年熊本県芦北町生まれ。幼少時、父を脳症型で亡くし自身も発症。水俣病認定申請患者協議会長となり、実力行使を求めて行政を激しく追及するが、85 年申請を取り下げ、以来「人間として」現代社会と水俣病の意味を問い続ける。図書館に『常世の舟を漕ぎて』、講談社に『チン』は私であった。



山田真 やまだ まこと
小児科医。1941年岐阜県に生まれる。東大闘争に医学部生として参加以降、三里塚、チンソウ東京本社で住民・患者側付添。同時に森永砒素ミルク中毒被害者支援活動も組織。一方で『はじめてであつた小児科の夜』や『育有足典』などのロングセラーで知られる。3.11以降、福島に運び「水俣から福島へ」ほか著書多数。



田中 悠太 じゅうた ゆうた
水俣フォーラム理事。1954年東京都に生まれる。72年より患者支援活動に参加。フリーの編集者として水俣病関連出版にかかわる一方、で不知火雄雄と共同で『水俣病—その20年』を出版。水俣病認定申請患者協議会に所属し、多くの水俣病関連施設を手がけた後、後援者として水俣病を救済。準備会を組織し96年初の水俣病展を開催。水俣フォーラム事務局長を経て理事長。

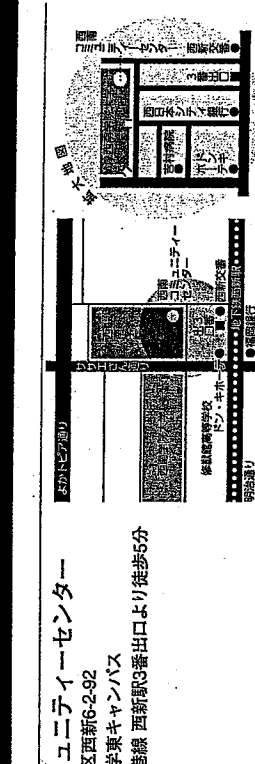
映画

「水俣病—その20年」 土本典昭監督、カラー・43分、1976年、DVD 上映

水俣病とは何か。「水俣—患者さんとその世界」以来、掘りためてきた膨大な記録フィルムの中から編成。水俣病事件の概要をわかりやすく説明したダイジェスト版でありながら事件の本質に迫る。映画はラストで「水俣病は終わっていない。同時に、私たちにも水俣の人々の体験と歴史が残されている」と語る。

会場

西南コミュニケーションセンター
福岡市早良区西新6-2-92
西南学院大学東キャンパス
・地下鉄空港線 西新駅3番出口より徒歩5分



来場チケット発売中

※ 来場チケットの購入は下記に限定させていただきます

- ・チケットぴあ系列のセブンイレブンとファミリーマート、ローソンチケット系列のローソンとミニストップで前売券をお求めになれます。いずれも手数料がかかります。店舗の端末操作を簡単にするチケットぴあの「Pコード」ナンバーは「647-025」、ローソンチケットの「Lコード」ナンバーは「83998」です。なお、ファミリーマートでの購入は、チケットぴあWebサイトで申込み後の店頭引取りのみとなります。
- ・お求めやすい価格の2日とも入場いただける通し券(一般2000円、20代以下1000円)は、下記の方法でお申し込み下さい。
- ・郵送をご希望の方は、郵便局備え付けの郵便振替用紙をご利用いただき、口座番号に「00120-4-398614」、加入者名欄に「水俣フォーラム」、通信欄に「2days講演会前売券希望」とご記入のうえ、開催日・券種・枚数を明記してご送金下さい。ご入金を確認次第、チラシ・チケットをお送りします。なお郵便振替用紙でのお申し込みは、10月29日(金)の受付印で締め切らせていただきます。
- ・会場は205席ですが、入場者数を半数以下とさせていただきます。会場は205席ですが、入場者数を半数以下とさせていただきます。全席自由席となりますので、お早めにお申し込み下さい。

ライブ配信 視聴受付中

YouTube ライブ配信(見逃し配信有)での視聴です。
fukuokaminamata2021.peatix.com にアクセスの上、チケットをご購入下さい。
※オンラインの利用方法や受取不具合のご相談は水俣フォーラムが事前に平日お電話でも受けています。



YouTube
Peatix

協賛NPO法人 水俣フォーラム

緑道青年会基金・緑道地味財団基金の助成を受けています

〒169-0075 東京都新宿区西田町1-34-12-404
TEL:03-3208-3051 FAX:03-3208-3052 <https://npo.minamata-f.com>
E-mail: mif1997@minamata-f.com

MINAMATA ミナマタ

製作 主演 ショニー・デップ

9月23日 全国で封切

水俣セミナー

完全予約制で開催
オンラインも開始

「水俣」の経験は私たち自身が私たちの社会と人間について考えるのを助けてくれます。「水俣」に関連する広範なテーマを読み解ぐために、多様な講師を招いて20年以上続けてきた「水俣セミナー」は、2021年からコロナ下に対応した連続開催を始めます。会場の席を半減する一方、オンライン視聴も可能にしました。「水俣フォーラム」からのライブ講演を、外出したくない方も、遠方においの方、どうぞ一緒に観てください。

第115回 5月26日(水)

木村友祐講演会「私の原点——『苦海浄土』と水俣病」

原発事故で被曝した牛を生かしてつづける牧場を舞台にした『聖地』、小村の村長選挙で既得権益を持つ側が若者をつぶすさまを滑稽に描き茶川賞候補になった『幼な子の聖戦』など、講師は社会からはじき出され忘れ去られた人、生き物、場所、場所に視線を向け小説を書いてきました。水俣病大学聴講をきっかけに、水俣フォーラムの運営委員を2015年から2期4年務めた講師が語る、自身を変えた『苦海浄土』との出会いと水俣病事件への思い。

第116回 6月24日(木)

南部篤講演会「神経生理学からみた水俣病」

私たち人間は脳が最も発達した生き物。その脳がメチル水銀によって侵される病気が水俣病です。では脳とはどんな器官なのか、どう働いているのか。実は大脳をはじめ神経について判ってきたのは、この20年と言われます。そんな脳の解明に挑む講師は、国立生理学研究のシステム脳科学研究領域教授。つまり脳についての専門家の中の専門家です。学生時代に患者支援運動と出会った講師が、自身の専門を通してやさしく語ります。

第117回 7月23日(金)

夏田美智子講演会「母と兄と私の水俣病を乗り越えて」

40数年前、自身と息子の水俣病を認めない行政を礼するため、子ども2人の手を引いて大阪から上京、数ヶ月にわたって環境庁に通った母がいました。当時35歳の母・仲村妙子は2003年に、当時14歳の息子・昭一は2020年2月に亡くなりましたが、生前2人が口をそろえていたのが「美智子が強い」。しかし、彼女は症状を隠し病苦を語らなかつただけでした。大阪府大東市で街と人のために奔走する講師が、亡き母と兄に励まされて語ります。

時間 ● 午後 7 時開会～ 9 時終了 (30分前開場)

会場 ● 常円寺 祖師堂講堂 (地下1階)

新宿区 西新宿7-12-5 TEL 03-3371-1797

交通機関 ● 地下鉄大江戸線

「新宿西口」駅より徒歩4分

西武新宿線「西武新宿」駅より徒歩5分

地下鉄丸ノ内線「新宿」駅より徒歩6分

JR・小田急・京王線「新宿」駅より徒歩7分

参加費 ● 1000円 (オンラインも同額)

申し込み ● 来場参加の定員は30名です

お電話で仮予約をお受けします

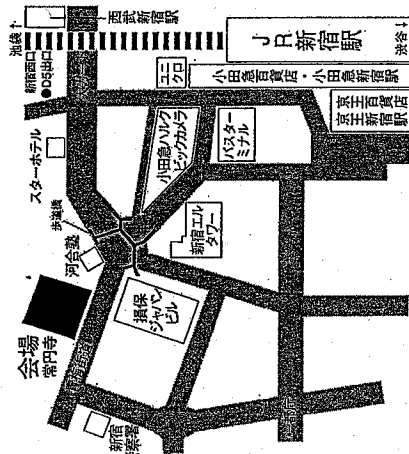
その後7日以内に代金をお振込みください

オンライン ● YouTubeライブ配信 (見逃し配信有)

minamataseminar.peatix.com で申込受付

上記にアクセスしチケットをご購入ください

終了後に講師を囲んで開いていた交流会は、コロナ禍のため開催しませんので、ご了承ください。



水俣病の経験から考える 環境問題

認定NPO法人 水俣フォーラム

2022年6月27日
令和4年度一般事業助成・プレゼンテーション

水俣フォーラムについて

1996年 「水俣・東京展」開催

1997年 水俣・東京展実行委員会をもとに
水俣フォーラム設立(2001年にNPO法人化)

設立目的:

全国各地での「水俣展」の開催をはじめとするさまざまな事業活動を通じて、水俣病事件を深く知り広く知らせ、これによって「近代」や「人間」について、ともに考える機会を多くの人々に提供する

2007年 認定NPO法人となる

現在 会員数950名

水俣フォーラムについて

水俣展 96年開始、25展合計入場者14万6908人

水俣病記念講演会 96年開始、24回合計入場者1万6408人

水俣セミナー 98年開始、118回合計入場者5525人

水俣への旅 98年開始、16回合計参加者364人

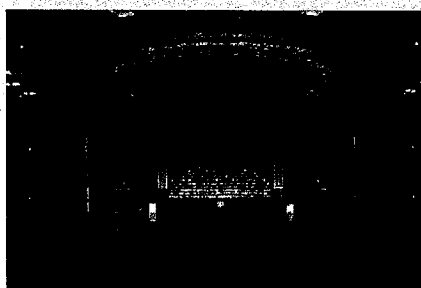
水俣病大学 12年開始、3期で卒業40人、聴講309人

水俣病読書会 08年開始、7シーズン合計124人参加

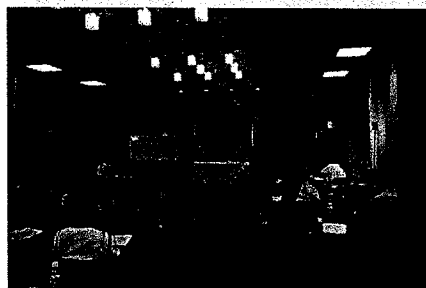
催しの様子



↑ 水俣病展2017(熊本)



↑ 水俣病公式確認60年記念講演会(2016年5月)



← 第116回水俣セミナー
(2021年7月)

助成対象事業

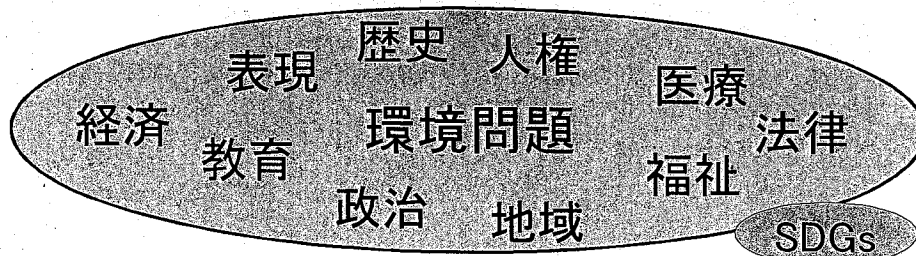
水俣病の経験から考える環境問題

目的： 新宿区との連携によって、水俣病事件という具体的な経験を通して、区民らの環境配慮行動の促進を図る

対象： 水俣病の経験に触れてこなかった、新宿区民をはじめとした社会一般

内容： 水俣病事件をわかりやすく伝える講演会を開催
講師による講演2時間のプログラムを3回実施
毎回異なる講師を招くことにより、水俣病事件を多角的に捉え今日の環境を中心とした問題を考える契機を提供

水俣病事件



イベント概要(仮)

時期: 2022年9～11月

会場: 常円寺祖師堂(新宿駅西口より徒歩4分)

配信: オンライン配信も併用

視聴期間は1週間、期間中は何度でも視聴可能

→より多くの人に参加しやすくなる

参加費: 1500円(オンラインも同額)

広報: チラシ、ホームページ、SNS(Twitter、Facebook)

新宿区施設、新宿区直営掲示板

期待される成果

- ・ 地域住民とNPOの協働の活性化
- ・ 地域住民らが今日的課題に目を向ける契機の創出

さらに…

- ・ 若い世代や海外の人々にも水俣病の経験を伝えていく必要がある
- ・ そのための協働基盤として本事業の位置づけ

認定NPO法人

「水俣フォーラム」団体概要

2022.6.1

- 【団体名】 認定NPO法人 水俣フォーラム
- 【代表者】 理事長 実川 悠太
- 【所在地】 東京都新宿区高田馬場1丁目34番地12号 竹内ローリエビル404号室
- 【設立日】 1997年10月11日
- 【設立経過】 1992年5月 水俣・東京展実行委員会発足準備会、活動開始
1994年5月 水俣・東京展実行委員会、発足
1996年9月 「水俣・東京展」16日間開催（30,083人入場）
1997年10月 同実行委員会をもとに、水俣フォーラム設立
2001年4月 特定非営利活動（NPO）法人として登記
2007年5月 税制上の優遇措置を公認された認定NPO法人となる
- 【会員】 一般会員912人（年会費1人 6,000円）
賛助会員 38人（年会費1人50,000円） 計950人 2022年5月6日現在
- 【設立目的】 全国各地での「水俣展」の開催をはじめとするさまざまな事業活動を通じて、水俣病事件を深く知り広く知らせ、これによって「近代」や「人間」について、ともに考える機会を多くの人々に提供する。
- 【活動内容】 「水俣展」の全国各地における開催（96年開始、25展合計入場者14万6908人）
「水俣病記念講演会」の毎年開催（96年開始、24回合計入場者1万6408人）
「水俣セミナー」の継続開講（98年1月開始、118回合計入場者5525人）
「水俣への旅」の毎年実施（98年開始、16回合計参加者364名）
「水俣病大学」の開講（12年開始、3期開講で資格授与22人、卒業40人、聴講309人）
「水俣病読書会」の毎年実施（08年開始、7シーズン合計124人参加）
水俣病に関する研究会などの開催
水俣病関連企画（出版・放送・研修ほか）への助言・相談受付・講師派遣
水俣病に関連する書籍・映像の企画・編集・製作
『水俣病ビデオQ&A』1996年、（企画・製作協力）
『水俣展総合パンフレット』1999年、（編集・発行）
『証言 水俣病』2000年、岩波新書、（企画・共編）
『僕が写した愛しい水俣』塩田武史、2008年、岩波書店、（企画・共編）
『水俣病図書目録』2017年、（編集・発行）
『水俣から』2018年、岩波書店、（企画・共編）
『水俣へ』2018年、岩波書店、（企画・共編）
「水俣病ライブラリー」の運営（書籍・ビデオ・CD）
機関誌の発行（97年創刊、05年リニューアル、A5判44ページ以上、既刊43号）
ホームページ、SNSによる情報の受発信（<https://npo.minamata-f.com>）

- 【活動予定】 2022年秋期 機関紙「水俣フォーラムNEWS」44号の発行
水俣・福岡展2023の準備活動を開始
2023年春期 京都で水俣病記念講演会を開催
(他は新型コロナウイルス感染症流行の状況に鑑みて検討中)
- 【年間予算】 2019年度決算 収入3,010万円 支出2,684万円
2020年度決算 収入2,979万円 支出1,634万円
2021年度決算 収入2,914万円 支出2,944万円
2022年度予算 収入3,068万円 支出2,952万円
- 【受賞】 朝日新聞社主催「第5回明日への環境賞」2004年
浄土宗主催「第3回共生・地域文化大賞 共生奨励賞」2009年
毎日新聞社・朝鮮日報社主催「第23回日韓国際環境賞」2017年
- 【理事】 東郷佳朗 (神奈川大学准教授、法社会学)
関口 清 (川崎市職員)
秋元孝行 (江戸川区体育会事務局職員)
郡山リエ (元・福祉施設職員)
瀬戸口裕子 (都立王子総合高校教員)
渡辺純規 (元・都立高校教員)
実川悠太 (理事長、常勤)
服部直明 (事務局長、常勤) * 理事は運営委員を兼務
- 【監事】 青山俊介 (環境構想研究所代表取締役、環境コンサルタント)
若林昭子 (コンパッソ税理士法人代表社員、税理士)
- 【評議員】 富樫貞夫 (熊本大学名誉教授、水俣病研究会代表、民事訴訟法)
北川フラム (アート・ディレクター、アート・フロント・ギャラリー代表)
栗原 彬 (立教大学名誉教授、政治社会学)
畠山武道 (北海道大学名誉教授、北海道自然保護協会理事、行政法)
土屋恵一郎 (前・明治大学学長、法哲学、演劇評論家)
- 【専門委員】 展示担当 鈴木紀雄 (元・埼玉県立高校教員)
資料担当 吉永利夫 (水俣病を語り継ぐ会理事、元・水俣病センター相思社常務理事)
映像担当 丸岡秀樹 (映像作家、川口SKIPシティ指導員)
技術担当 大八木勉 (日本映画大学職員)
- 【運営委員】 石井由樹子 (森のようちえん葉山「もりのわ」代表)
金尾敏恵 (NPO法人VIVID事務局長)
市橋久美子 (企業年金基金職員)
宮崎洋介 (化学会社研究員)
豊野堯 (日本バレーボール協会職員)
本多真弥 (日本放送協会ディレクター)
木全由規 (留学コーディネーター)
大八木勉 (事務局非常勤、日本映画大学職員)
宇田川弓 (事務局常勤)
梁取優太 (事務局常勤)

【主な共同事業者】

名古屋市（2002年）	西日本新聞社（2019年～）
新潟市（2008年）	北海道新聞社（2007年）
つくば市（茨城県、1998年）	熊本日日新聞社（2017年）
佐伯町（岡山県、2001年）	明治大学（2010年）
東京都歴史文化財団（2000年）	和光大学（2006年）
川崎市文化財団（2004年）	グリーンコープ生活協同組合（2017年～）
北海道環境財団（2004年）	労働組合「連合」広島地区協議会（2002年）
朝日新聞社（2012～21年）	創価学会沖縄（1999年）
中日新聞社（2005年）	部落解放同盟大阪府連合会（1999年）

【主な会員・呼びかけ人】 2021年12月27日現在

秋葉忠利（元・広島市長）	澤地久枝（作家）
秋吉敏子（ジャズピアニスト）	潮谷義子（前・熊本県知事）
池澤夏樹（作家）	杉本 肇（患者家族、漁師、芸人）
石井妙子（ノンフィクション作家）	高橋源一郎（作家）
磯崎 新（建築家）	高橋 昇（元・水俣病センター相思社職員）
いとうせいこう（作家・クリエイター）	高橋睦郎（詩人）
伊藤比呂美（詩人、早稲田大学教授）	高峰 武（熊本日日新聞論説顧問）
上田紀行（東京工業大学教授、人類学）	田口ランディ（作家）
上野千鶴子（東京大学名誉教授、社会学）	竹下景子（俳優）
大石芳野（写真家）	田中優子（元・法政大学総長、近世文化）
大沢菜穂子（水俣からたち事務局）	坪倉善彦（NHKアナウンサー）
大治浩之輔（元・NHK記者）	長倉洋海（写真家）
緒方正人（漁師、水俣病患者）	中島岳志（東京工業大学教授、政治学）
岡本達明（元・新日窒労組委員長、民衆史）	中村桂子（元・JT生命誌研究館館長）
奥田愛基（元・SEALDs）	夏田美智子（水俣病患者、職業紹介業）
小田和正（ミュージシャン）	南部 篤（生理学研究所教授、神経学）
加藤三郎（元・環境庁地球環境部長）	萩尾望都（漫画家）
金子 勝（立教大学特任教授、経済学）	平田オリザ（劇作家）
上條恒彦（歌手、俳優）	ピーター・バラカン（ブロードキャスター）
香山リカ（精神科医）	松崎忠男（チッソ水俣病患者連盟委員長）
川本愛一郎（患者家族、作業療法士）	水戸岡鋭治（JR九州デザイン顧問）
姜 尚中（東京大学名誉教授、政治学）	宮本憲一（日本環境会議名誉理事長）
木村友祐（作家）	森 まゆみ（作家）
甲野善紀（武術家）	森 達也（ドキュメンタリー作家）
小宮悦子（キャスター）	森岡正博（早稲田大学教授、倫理学）
小室 等（ミュージシャン）	柳田邦男（ノンフィクション作家）
是枝裕和（映画監督）	山口紀洋（水俣病関係訴訟弁護団）
崔 洋一（映画監督）	山田太一（脚本家）
斎藤美奈子（文芸評論家）	山田 真（医師、八王子中央診療所長）
坂口恭平（作家、建築家、アーティスト）	吉井正澄（元・水俣市長）
坂本しのぶ（胎児性水俣病患者）	吉永理巳子（水俣病患者）
佐々木正明（元・青林舎代表、映画制作）	若松英輔（批評家）
佐高 信（経済評論家）	渡辺京二（評論家、歴史家）

【主な物故会員・協力者】年は逝去年、西暦

99年	川本輝夫（水俣病患者）	15年	鶴見俊輔（哲学）
00年	高木仁三郎（原子力資料情報室）	16年	永 六輔（作家）
02年	田上義春（水俣病患者）		若宮啓文（朝日新聞主筆）
03年	隅谷三喜男（経済学）	17年	大岡 信（詩人）
04年	網野善彦（歴史学）		高木隆太郎（映画制作者）
06年	宇井 純（公害研究者）	18年	石牟礼道子（作家）
	阿部謹也（歴史学）		日高六郎（社会学）
08年	杉本栄子（水俣病患者）		大田 堯（教育哲学）
	筑紫哲也（ジャーナリスト）		日吉フミコ（水俣病対策市民会議）
	土本典昭（記録映画作家）	19年	加藤典洋（文芸評論）
09年	大村トミエ（水俣病患者）	20年	赤木洋勝（分析化学）
10年	井上ひさし（作家）		市川敏明（アート・ディレクター）
	立松和平（作家）		C.W.ニコル（作家）
11年	いいだもも（作家）	21年	石田 雄（政治学）
12年	原田正純（精神神経科医師）		色川大吉（歴史学）
13年	天野祐吉（コラムニスト）		内橋克人（経済評論）
	村井吉敬（経済学）	22年	佐藤忠男（映画評論）
14年	塩田武史（写真家）		見田宗介（社会学）
	土井たか子（衆議院議長）		

事業計画書

団体名	特定非営利活動法人 日本吃音協会
事業名	吃音に理解のある地域共生社会
① 事業目的・概要	ア 事業目的 『障害等のある子どもへの専門相談の推進』『障害理解への啓発活動の促進』が重点的な取り組みと定められている新宿区において、吃音を持つ子供たち・ご両親が吃音を気軽に相談できる相談体制の強化や相談窓口の充実と地域住民の吃音理解への啓発活動を行う。
	イ 事業概要 本事業では、新宿内でも14歳以下の人口が多い**富久町・百人町3丁目またはその周辺の貸し会議室・オンラインで以下の2つの活動を行う。 ※新宿区内の新型コロナウイルスの感染状況に応じて、対面イベントを中止し、全イベントをオンラインで実施する。 (※※添付資料1 新宿区 住民基本台帳の町丁別年齢(5歳階級)別人口(日本人と外国人の合計)) ① 吃音なんでも相談団(仮称)： 吃音の子供たち・ご両親が吃音の専門家(言語聴覚士、心理カウンセラー、傾聴ボランティア)に相談できる出張相談室(貸し会議室で2回・オンライン(zoom)で1回)を開設する。相談員は吃音治療の実績のある言語聴覚士1名、吃音当事者へのカウンセリングを専門としている心理カウンセラー1名(カウンセリング実績5年以上)、傾聴ボランティア1名(傾聴カウンセリング実績150件)の3名体制を予定している。 相談者1組に対して、専門家が1名対応する。1組につき、相談時間は最大30分程度を予定している。専門家3名体制のため、1イベント(3～5時間程度)で、15名の相談を行う。※休憩時間、交代時間、参加者が増える可能性があるため、吃音なんでも相談団の開設時間は時間を想定している。 ② 吃音を知るための啓発ブースの開設・交流会： 吃音の出張相談室を開設する会場に、吃音に関する資料や掲示物を掲示、吃音当事者と地域住民による交流会(貸し会議室で2回・オンライン(zoom)1回)を開催し、地域住民が吃音に対して理解を深める場を作る。 本事業を通して、支援団体・専門家・行政機関の吃音のある子供たちへの専門相談のためのネットワーク基盤の構築、相談体制の強化や相談窓口の充実、地域住民へ吃音理解への呼びかけを行い、新宿区がバリアフリーコミュニティーを形成する一助となることを目的とする。

② 地域課題・社会的課題	日本吃音協会が本部を置く新宿区は、新宿区障害者計画の基本理念の一つに『障害者が尊厳を持って生活できる地域共生社会の実現』を掲げている。その中で『障害等のある子どもへの専門相談の推進』『障害理解への啓発活動の促進』を重点的な取り組みの一つとして定めている。しかし当団体が新宿区内で調査した結果によると吃音のある子どもへの専門相談の推進と障害理解への啓発活動の促進は、困難な状態になっていると判明した。以下に、主張の根拠となるアンケート調査・実地調査・電話調査の結果について述べる。 ● アンケート調査の結果 当団体が実施した吃音症に関するアンケート結果(添付資料2.p1)によると、「吃音の配慮や理解が足りているか」の質問に対して93.7%の回答者が「吃音への理解や配慮が足りていない」・「足りていないが昔よりも改善した」と回答、「どのライフステージで最も吃音症で苦労したか」の質問に対しては、53.1%の回答者が「幼児期～中学生」と回答した。 ● 実地調査の結果 新宿区立教育センターが管轄することばの教室(吃音等の子供たちを無償で支援する場)に実地調査を行った結果、コロナパンデミックが始まる前後では、必要な支援を受ける吃音の子供たちが15人程度から幼児が3,4人程度まで減少していることが判明した。※今回示した数字は吃音を持った子供たちの人数であるため、ことばの教室に通う子供たちの総数ではない。直接の聞き込み調査であるため資料なし。 ● 電話調査の結果 吃音診療のできる病院・専門機関に電話調査(5件)したところ、大学病院、研究機関での吃音の診療には紹介状が必要で、吃音外来の専門医がいる慶應義塾大学病院や新宿ボイスクリニックで吃音診療を受けるには数ヶ月待ちであると判明した。(添付資料2.p.2) 新宿区住民基本台帳年齢3区分人口データ(添付資料2.p.3)より新宿区には年少人口(15歳未満)が30,729人(外国人含む)いるとされている。一般的に考えられている吃音症の発症確率(人口の1%)から、約307人の吃音の子供たち(15歳未満)がいると推測される。上述した調査結果と新宿区住民基本台帳年齢3区分人口データから概算した吃音当事者数(15歳未満)を比較すると、新宿区内では吃音の子どもたちが必要な支援が受けられていない可能性が十分に高いと示唆される。 コロナパンデミックの影響を受け、新宿区が定める『障害等のある子どもへの専門相談の推進』の達成は非常に困難であり、支援団体(当団体)が主団体となり、ポストコロナを見据えた吃音の子供たち・ご両親を支援するための専門家・行政機関・支援団体の協力ネットワークの基盤の構築が必要だと考える。また、アンケート結果より、『障害理解への啓発活動の促進』の重要性が再度強調された。支援団体が主軸となり、地域住民との双方向的な啓発活動を行うことで地域住民・行政機関のさらなる障害理解が醸成され、『障害者が尊厳を持って生活できる地域共生社会の実現』に貢献する と考える。 I. イベント(会議)名:(吃音なんでも相談団(仮名称)) ア イベント(会議)の開催予定等
---------------------	--

③ 活動内容 (イベントが複数ある場合は、こちらのページを複写して作成してください)	活動内容: 富久町・百人町3丁目・オンラインで吃音の専門家集団(言語聴覚士・心理カウンセラー・傾聴ボランティア)による吃音に関する出張相談所を開設する 実施期間: R 4年 9月 ~ R 4年 12月 実施回数: (3) 回/月・年 (各会場一回ずつ) 実施場所: オンライン ・ 会場 (富久町・百人町3丁目貸し会議室) 富久町とその周辺貸し会議: Sabori 大久保・新大久保 402(富久町から約 800m)を検討 百人町3丁目とその周辺貸し会議室: ワイム貸会議室 高田馬場(百人町3丁目から約 900m)を検討				
	イ 対象者及び参加予定人数 対象者: 新宿区にいる吃音の子供たちやそのご家族 参加予定人数: のべ (45) 名 (一回につき 15 人程度相談対応可能)				
	ウ 周知 <媒体> ☒ ポスター ☒ チラシ ☒ HP ☒ その他 (SNS、YouTube 等) <周知先> ☒ 区施設 (特別出張所、地域センター等) ☒ 区直営掲示板 ☒ その他 (新宿区の児童館や図書館等) Web・SNS 戦略: イベント開始 2ヶ月前より、twitter(1830 フォロワー)、YouTube(登録者 808 人)、Instagram(1367 フォロワー)、オウンドメディア等での告知活動。 アンバサダーマーケティング: 日本吃音協会と協力関係にある吃音の当事者であるミュージシャン(twitter フォロワー2万人)による告知活動。 ローカル戦略: 新宿区の協力を経て、チラシを掲示板や区の施設への掲載。小学校・中学校へのチラシの配布。ことばの教室等へのチラシの配布活動。				
	エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載) <table border="0"> <tr> <td>団体構成員 (1) 名</td> <td>講師等 (2) 名</td> </tr> <tr> <td>アルバイト (2) 名</td> <td>ボランティア (2) 名</td> </tr> </table>	団体構成員 (1) 名	講師等 (2) 名	アルバイト (2) 名	ボランティア (2) 名
	団体構成員 (1) 名	講師等 (2) 名			
アルバイト (2) 名	ボランティア (2) 名				
II. イベント(会議)名: (吃音を知るための啓発ブースの開設・交流会) ア イベント(会議)の開催予定等 活動内容: 吃音の啓発活動を促進することを目的とした吃音に関する展示物の掲示と展示ブースの区民への開放・交流会の開催を行う。 実施期間: R 4年 9月 ~ R 4年 12月 実施回数: (3) 回/月・年 実施場所: オンライン ・ 会場 (富久町・百人町3丁目周辺会議室) 富久町とその周辺貸し会議: Sabori 大久保・新大久保 402(富久町から約 800m)を検討 百人町3丁目とその周辺貸し会議室: ワイム貸会議室 高田馬場(百人町3丁目から約 900m)を検討					

	イ 対象者及び参加予定人数 対象者：富久町 7104 人、百人町 3 丁目 5415 人その周辺在住の区民 参加予定人数： のべ (60) 名 ウ 周知 <媒体> ☒ ポスター ☒ チラシ ☒ HP ☒ その他 (SNS、YouTube 等) <周知先> ☒ 区施設 (特別出張所、地域センター等) ☒ 区直営掲示板 ☒ その他 (新宿区の児童館や図書館等) web・SNS 戦略： イベント開始 2 ヶ月前より、twitter(1830 フォロワー)、YouTube(登録者 808 人)、Instagram(1367 フォロワー)、オウンドメディア等での告知活動。 アンバサダーマーケティング： 日本吃音協会と協力関係にある吃音の当事者であるミュージシャン(twitter フォロワー 2 万人)による告知活動。 ローカル戦略： 新宿区の協力を経て、チラシを掲示板や区の施設への掲載。小学校・中学校へのチラシの配布。ことばの教室等へのチラシの配布活動。 エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載) 団体構成員 (1) 名 講師等 (2) 名 アルバイト (2) 名 ボランティア (2) 名
④ 安全対策等 (箇条書きで ご記入ください)	ア 事業実施にあたっての具体的な安全対策 安全対策のため会場設営・入館時の条件を以下のように定める。 会場設営： 吃音を相談するための相談ブースに使用するのは椅子・机・筆記用具等のみ。展示ブースでは展示物には手を触れないように注意喚起を促すための掲示物を設置する。壊れやすい機材等は一切使用しない。 入館時の条件： 小学生以下の子供たちは原則保護者同伴での入館の義務づけを行う。 イ 新型コロナウイルス感染症対策 当団体は、I. II. を実施するにあたり、東京都防災ホームページを参考に新型コロナウイルス感染症対策を実施する。以下に具体例を示す。 ・運営/参加側の運営飛沫の抑制 (マスク着用や大声を出さないこと) の徹底 ・入館時のアルコール消毒や手洗、手指・施設消毒の徹底 ・会場の換気の徹底や来場者間の密集回避 ・運営側の感染対策 (会議等はオンライン実施 / 検温の徹底) また、万が一会場内来場者からコロナ感染者が出た場合、全イベント参加者に通知ができるように、入場時に名前、電話番号、住所、体調等を記入するブースを準備する。※ 個人情報の保護については団体が徹底管理を行う。
⑤ 期待される効果	ア 区民や地域社会への成果・効果

	本事業を周知する際に、区施設や区直営掲示板にイベントチラシ・ポスターの掲載や小学校・中学校への配布を行う予定である。イベント開催時には吃音の啓発を促進するために展示物を掲示し、区民が吃音への理解を深める機会をつくる。イベント開催に伴う周知活動や実際の運営活動、協働推進基金助成事業紹介冊子『新宿ソダチ』を通して、新宿区内で吃音という言葉の認知が広がり、障害理解への促進活動の契機になりえる。 吃音なんでも相談団の活動では、子供自身が吃音の悩みを専門家に共有することで、最適なアドバイスを受けることができ、発話への不安を払拭することができる。また、吃音をもつ子供たちのご両親の負担を大いに軽減することができる」と期待される。 イ 現状や課題に対する成果・効果 地域課題・社会的課題で記述したように、コロナ禍の影響で新宿区障害者計画の重点取り組みの一つである『障害等のある子どもへの専門相談の推進』特に、吃音を持つ子供への専門相談の推進は困難を極めている。吃音のカウンセリングに実績のある支援団体(当団体)が主軸となって、事業の企画と運営を行うことで、『コロナ禍の影響でことばの教室に通う児童が減少した問題』『吃音診療が行える専門機関がない/新規患者を募集していない』などの問題を解決や相談体制の強化や相談窓口の充実化に貢献すると考える。特に、吃音を持つ子供たちやご両親にとっては安心した環境で吃音を相談することができ、吃音症に関する悩みの解決の一助となる。 また、支援団体(当団体)・専門家(言語聴覚士等)・行政機関の協力ネットワークの基盤の構築は他障害の支援を行なっている当事者団体と専門家や行政機関の協力ネットワークのモデルケースとなり、新宿区内にある他支援団体・専門家・行政機関の連携強化に寄与すると期待される。
⑥ 先駆性・専門性	当団体は任意団体として設立以来、吃音当事者向けのカウンセリングを300件以上(主にオンライン)、オフライン・オンラインイベント(吃音の子供たち・ご両親向けのイベント含む)を約30回以上運営、吃音の子のための学習教室運営、SNSやYouTube、オウンドメディアによる吃音啓発活動を行ってきた。当団体は『吃音の相談を気軽に相談する場が欲しい』『吃音に対する理解が欲しい』との当事者の声に耳を傾け、吃音の当事者やご家族へのカウンセリング事業の拡大と吃音の啓発活動の加速に注力してきた。 本事業の目的である『吃音を持つ子供たち・ご両親が吃音を相談できるネットワーク基盤の構築と地域住民の吃音理解への啓発活動』は、当団体が得意としている分野であり、専門家(言語聴覚士)や行政機関との連携を行うことで、目的達成が磐石のものになると考える。
⑦ 今後の展望	今年度の取り組みは、ポストコロナを見据えた吃音を持つ子供たち・ご家族の支援ネットワークの構築するための”基盤作り”という位置付けで運営を行う。本取り組みは来年度以降も行い、新宿区での『吃音のある子どもへの専門相談の推進』を行う上で、吃音の専門家チーム(言語聴覚士・カウンセラー)・行政機関・支援団体の継続性のあるオンライン・オフラインでの協力ネットワークの構築、相談体制の強化や相談窓口の充実化を目指す。 【補足】

② 地域課題・社会的課題 電話調査の結果より、新宿区内で吃音外来を受診するには、大学病院・研究機関での受診は紹介状が必要なため診療までの工数が多い。または、吃音外来の専門家の診察を受けるには数ヶ月間待つ必要があると判断した。専門家(言語聴覚士、カウンセラー)・支援団体(当団体)・行政機関の協力ネットワークとは、『病院に行きたいけど、待たないといけない。その間に相談に乗って欲しい』、『行政機関に相談したけど、学校に相談してくださいと言われた』、『言語聴覚士の治療を受けたいけど、自費診療で高額。無料で相談に乗って欲しい』こういう状況下にある吃音の子供たちやご家族を連携してサポートするオフライン・オンラインの協力ネットワークを作るという意味である。

積極的な CSR 活動(企業寄付を求める活動)や事業運営を行い、自律性や持続性のある特定非営利活動法人の体制をつくる。

	助成年度（ ） 事業名（ ）
⑧ 過去にこの助成を受けた実績	助成年度（ ） 事業名（ ） 助成年度（ ） 事業名（ ）
⑨ この事業に対する他の助成の有無 (申請中のものを含む)	☐ 有 ☒ 無 有の場合は、助成名称(団体)及び助成額 助成名(団体名): 助成額: 円 ※新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。本助成金への申請後に、同事業で新宿区外の補助金へ申請される際は、必ずご相談ください。

令和4年4月1日現在

新宿区 住民基本台帳の町別年齢(5歳階級)別人口(日本人と外国人の合計)

町 丁 名	合 計	0→4	5→9	10→14	合 計	15→19	20→24	25→29	30→34	35→39	40→44	45→49	50→54	55→59	60→64	65→69	70→74	75→79	80→84	85→89	90→	65歳以上 上 再掲
富久町	7,104	323	295	226	195	268	440	476	595	654	654	606	482	384	333	404	290	231	153	95	1,506	
百人町3丁目	5,415	259	257	273	260	272	203	247	372	401	432	437	351	195	207	361	271	305	196	116	1,456	
大久保3丁目	4,838	247	240	225	712	240	303	320	334	369	384	464	416	273	188	173	221	184	108	77	52	815
西早稲田3丁目	6,620	199	213	233	645	276	606	650	480	458	462	530	563	438	327	249	320	219	199	127	71	1,185
若松町	5,600	191	225	218	634	387	374	446	446	446	483	503	420	338	251	239	265	206	173	119	70	1,072
中落合2丁目	4,947	215	227	176	618	183	313	461	331	380	406	391	363	309	239	193	233	183	138	115	91	953
高田馬場4丁目	6,310	193	210	179	582	169	478	654	557	534	505	510	435	377	309	271	302	226	163	132	106	1,200
新宿7丁目	6,484	186	206	176	568	173	444	651	586	548	518	547	527	386	305	260	332	220	170	154	95	1,231
北新宿3丁目	6,760	195	184	188	567	169	559	704	644	539	530	539	484	360	275	235	351	239	231	157	117	1,390
矢来町	4,448	203	176	146	525	133	184	327	360	373	351	388	381	297	241	197	218	151	125	104	93	888
西新宿4丁目	7,149	188	175	154	517	201	783	857	706	566	586	531	477	447	381	312	339	232	211	140	76	1,273
上落合1丁目	5,258	190	172	149	511	142	309	522	429	434	405	404	338	324	254	297	303	203	167	119	97	1,186
北新宿2丁目	5,234	164	176	139	479	167	385	438	393	448	382	430	436	380	280	198	285	220	162	89	62	1,016
北新宿4丁目	6,264	183	162	134	479	152	551	788	663	589	497	489	417	315	266	243	266	206	151	119	73	1,058
西早稲田2丁目	5,861	189	153	134	476	198	614	694	579	463	433	445	428	354	258	201	263	151	138	102	64	919
河田町	2,821	163	158	152	473	117	136	187	222	260	282	309	243	135	94	94	93	57	47	42	30	363
西落合1丁目	4,590	151	172	133	456	119	344	492	395	364	393	388	304	290	213	171	213	155	138	98	57	832
下落合4丁目	4,448	132	150	156	438	162	382	381	301	298	293	348	345	310	236	204	220	157	166	117	90	954
下落合3丁目	4,565	153	135	141	429	148	289	340	354	364	364	335	339	309	269	185	251	215	170	120	84	1,025
北新宿1丁目	6,898	156	131	139	426	164	707	1,083	798	644	542	507	456	324	249	214	284	184	134	107	75	998
西早稲田1丁目	5,352	146	155	123	424	193	548	421	341	313	401	382	384	326	275	238	325	272	255	169	85	1,344
大京町	3,938	159	146	109	414	108	333	340	361	369	339	318	268	203	174	152	190	152	97	72	48	711
西落合2丁目	4,169	141	131	133	405	135	255	384	383	345	293	313	312	277	204	181	232	156	139	95	60	863
中落合3丁目	4,228	141	127	132	400	144	288	366	350	320	301	305	352	296	248	195	197	162	150	82	72	858
余丁町	4,063	142	112	132	366	118	265	362	341	344	364	341	313	264	198	143	211	163	108	99	53	777
南元町	2,531	143	116	124	383	73	138	143	182	198	226	216	226	149	157	97	105	75	87	51	25	440
市井中2丁目	2,536	112	132	129	373	107	118	164	189	203	224	320	269	163	123	76	80	40	29	37	21	283
市井中1丁目	3,189	110	135	125	370	118	203	268	197	222	234	235	238	210	163	147	172	135	111	96	70	731
下落合2丁目	3,573	117	121	124	362	141	269	313	279	255	258	282	301	219	184	143	170	149	108	77	63	710
上落合2丁目	4,928	135	125	101	361	137	349	582	467	404	361	367	323	287	228	232	286	182	178	102	82	1,062
上落合1丁目	3,367	133	127	99	359	109	178	268	286	314	261	262	246	206	147	141	168	153	120	87	62	731
市谷鷹場1丁目	4,253	123	117	95	335	110	353	455	389	358	301	388	304	254	215	168	192	149	131	93	58	791
市谷鷹場3丁目	5,596	122	115	96	333	143	530	668	573	481	439	399	368	306	242	222	303	172	187	149	81	1,114
市谷鷹場5丁目	3,883	160	102	70	332	88	270	401	449	400	364	318	282	233	195	143	153	86	80	48	41	551
中落合4丁目	3,060	87	128	112	327	114	230	231	239	219	230	214	263	208	181	149	161	108	68	77	41	604
四谷4丁目	3,386	140	106	78	324	75	163	311	349	309	272	316	292	219	140	149	153	115	94	74	31	616
中落合1丁目	3,536	113	104	104	321	107	274	382	314	313	266	280	281	189	167	143	169	127	103	60	40	642
西新宿6丁目	3,672	153	106	62	321	62	217	426	393	398	369	322	316	234	166	102	107	88	64	53	34	448
新小川町	3,285	112	98	108	318	87	154	304	357	300	255	274	275	200	159	130	166	121	88	70	27	602
早稲田鶴巻町	5,467	118	111	86	315	141	527	636	499	403	410	421	383	313	266	231	333	192	173	145	79	1,153
上落合3丁目	4,661	118	102	87	307	125	399	535	444	364	379	342	335	264	213	205	235	173	153	113	75	954
市谷薬王寺町	3,302	110	113	79	302	87	171	300	311	256	327	336	279	215	136	98	164	122	95	60	43	582
市谷山吹町	3,869	147	90	60	297	68	270	485	455	377	323	307	302	211	165	132	150	133	89	70	35	609
百人町2丁目	4,502	102	92	101	295	129	510	568	495	381	318	348	321	267	186	140	185	150	91	80	38	684
真五軒町	2,300	106	100	78	284	69	149	205	183	193	204	187	196	170	100	91	106	64	44	25	30	360
百人町4丁目	2,772	56	105	113	274	95	76	68	81	136	170	168	181	148	135	187	286	248	254	161	104	1,240
若菜1丁目	2,535	78	102	87	267	113	112	143	189	193	213	206	199	172	145	112	148	118	94	67	44	583
西落合3丁目	3,144	89	86	89	264	104	242	310	241	217	211	250	238	208	175	151	171	128	97	83	54	684
西落合2丁目	2,054	96	83	78	257	60	124	166	179	198	195	188	172	110	98	82	85	41	43	54	32	307
戸山1丁目	2,495	77	97	82	256	75	228	304	190	176	191	197	158	158	124	100	106	77	67	46	42	438
市谷加賀町2丁目	1,772	72	94	86	252	152	174	84	108	151	151	176	152	96	69	47	58	35	37	17	13	207
西落合4丁目	2,343	79	81	91	251	82	157	244	194	174	165	174	177	136	122	105	130	75	58	55	44	467
市谷本村町	2,679	96	81	71	248	98	280	344	298	250	243	262	208	136	107	59	51	44	28	16	7	205

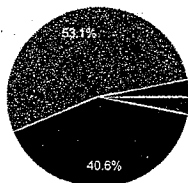
令和4年度新宿区協働推進基金助成金 一般助成 助成事業計画書 添付資料 2



NPO法人日本吃音協会(SCW)

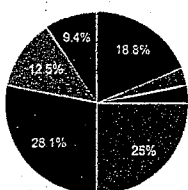
吃音当事者へのアンケート結果

吃音への理解や配慮は足りていると思いますか？
32件の回答



- 足りている
- 足りていない
- 足りていないが、音よりも改善している
- 吃音すら話題にならないので、わからない

吃音症で最も苦労した時期について教えてください。
32件の回答



- 幼稚園生から小学生
- 中学生
- 高校生
- 大学生
- 社会人になってから
- 今でも時々、苦労する
- 大学生から現在まで

吃音当事者が行政機関や地方自治体に求める支援要望の抜粋例

特に成人の吃音に関する相談窓口を設置してほしいです。小児であれば発達支援や医療機関も相談できる場がまだ見つかりやすいです。ですが成人の吃音者が相談できる場所はほぼ民間のみ。他の発達障害にも言えますが、窓口を明確にいただき、診療可能な医療機関、カウンセリング、自助団体などにつなげる場を行政として設置していただきたいです。吃音で1番苦しむのは社会にでてからだと思います...

- ・行政サービスで直接何かをしてほしいというよりは、まずは吃音の啓発を定期的に行ってほしい。(公共施設や小学校・中学校でのポスター掲示やチラシ配布など)
- ・吃音を持つ児童やその親御さんと触れ合う機会が多い学童、児童館、学校等の職員に対しては吃音の認識・理解を徹底してほしい。
- ・区の「言葉の教室」に通っていたが、吃音者の児童はいなかった。吃音を持つ児童同士で交流できるサービスがあると良いと思った。
- ・吃音は将来への不安を生みやすく、見えている世界が狭い小学生・中学生は自殺を考えることもある(私がそうでした)。社会人が産業医のカウンセリングを受けられるように、小学校や中学校でも定期的なカウンセリングサービスがあると良かった。

吃音者へのサポート(治療や改善の相談など)、吃音の周知、重度の方への障害者手帳や障害年金の拡充。

外見で判断ができる障害ではない分、認知度を高めてもらいたいの、メディアなどを使った支援体制を整えてもらえたらと思います。

教育者に向けた吃音に関するセミナー、又はリーフレット配布

吃音の広報。こんな障がいがある事をみんなにわかってもらいたい

支援というよりは、まず初めに吃音を知ってもらう場や機会を設けるべきだと思います。

お問い合わせ病院例

Tab.1 吃音の診療が可能である病院の状況

病院名	連絡先	状況
東京医科大学病院	03-3342-6111	紹介状が必要
慶應義塾大学病院	03-3353-1211	紹介状が必要 数ヶ月待ち
新宿ボイスクリニック	03-5155-3422	言語聴覚士在籍 数ヶ月待ち
新宿皮膚と心の診療所	03-3355-7755	診療は可能。吃音治療は受け付けていない。
国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院	03-3202-7181	紹介状が必要

p.2

新宿区の人口

Tab.2 新宿区住民基本台帳年齢3区分人口データ

●男女別人口				
	男	女	合計	
住民基本台帳人口	170,630	170,247	340,877	
内訳	日本人	153,654	154,068	307,722
	外国人	16,976	16,179	33,155
●年齢3区分別人口				
	年少人口 (15歳未満)	生産年齢人口 (15歳～64歳)	老年人口 (65歳以上)	
住民基本台帳人口	30,729 (9.0%)	242,981 (71.3%)	67,167 (19.7%)	
内訳	日本人	28,398 (9.2%)	213,655 (69.4%)	65,669 (21.3%)
	外国人	2,331 (7.0%)	29,326 (88.5%)	1,498 (4.5%)
※構成比の計については、小数点第二位で四捨五入をしているため100%にならない場合があります。				
●世帯数				
	世帯数			
住民基本台帳世帯	217,244			
内訳	日本人のみの世帯			
	191,632			
内訳	日本人と外国人の複数国籍世帯			
	3,316			
	外国人のみの世帯			
	22,296			

出典： https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index02_101.html 2021/4/07引用

p.3

2 基本理念

◇ 障害者が尊厳を持って生活できる地域共生社会の実現

「障害者の権利に関する条約（障害者権利条約）」の批准にむけた一連の法改正や制度改正の一環として、平成 28 年 4 月、障害者差別解消法及び改正障害者雇用促進法が施行されました。

障害者権利条約では、「すべての障害者によるあらゆる人権及び基本的自由の完全かつ平等な共有を促進し、保護し、及び確保すること並びに障害者の固有の尊厳の尊重を促進すること」を目的とし、障害者の権利の実現のための措置等について定めています。障害者差別解消法では、障害を理由とする差別を行うことが明確に禁止されるとともに、合理的配慮の不提供を差別と位置付けています。

区は、この条約や障害者差別解消法の趣旨を尊重し、すべての障害者が、障害のない人と等しく、個人の尊厳が尊重され、それぞれの自己決定・自己選択によって地域の中で他の人々と共生することが妨げられずに、安心して暮らすことができ、区民一人ひとりが大切にされる地域共生社会をめざします。

◇ バリアフリー社会の実現

ノーマライゼーションの理念に基づき、障害のある人も障害のない人も地域を構成する一員として共に支えあい、障害者が自ら望む活動に積極的に参加できる共生社会を実現するために、すべての人たちが、障害についての理解を深めることが必要です。

区はあらゆる機会や場面を通じて、社会的・物理的なバリアフリーを促進し、こころの中のバリアもなくすために必要な合理的配慮を怠らず、安全で豊かな地域共生社会をめざします。

◇ 必要な時に必要な支援が得られる地域共生社会の実現

乳幼児期から学齢期、成年期、高齢期に至るまで、それぞれのライフステージに応じた切れ目のない支援により、障害者が地域の中で生き生きと成長し、その人らしく自立した生活を実現することが必要です。

区は、障害者やその家族の相談に的確に応じることをはじめ、関係するさまざまな分野にわたる支援・連携を一層強化し、適切な情報や必要なサービスの提供など、総合的な支援を受けられる地域共生社会の実現をめざします。

第 2 章 重点的な取組

本計画では、「基本目標」の実現に向けて、計画を支える「基本施策」を定め、特に積極的な取組により事業を推進していく必要がある次の「個別施策」を、重点的な取組として掲げました。

重点的な取組 1 地域生活支援体制の推進【個別施策⑨】	
基幹相談支援センターと区内 3 か所の地域生活支援拠点施設（身体障害者の拠点「区立障害者福祉センター」、精神障害者の拠点「区立障害者生活支援センター」、知的障害者の拠点「シャロームなみ風」）及び関係機関が連携し、障害者や家族、事業者がいつでも相談でき、地域で安心して生活できるように地域生活支援体制を推進していきます。	
重点的な取組 2 障害等のある子どもへの専門相談の推進【個別施策⑩】	
障害のある子どもや発達に心配のある子どもの相談支援環境を整備します。昨今、特に求められているのは専門性の高い相談です。子ども総合センターにおける発達検査や専門職による個別指導、保健センターにおける発達専門の小児科医師による相談、教育委員会における就学相談等で専門的な相談や支援を行うとともに、切れ目のない支援が行えるよう、関係各機関が連携を図っていきます。	
重点的な取組 3 病院からの地域生活移行の支援【個別施策⑪】	
精神障害者の地域移行については、医療機関との連携を積極的に図り、退院支援を推進しています。退院支援において、入院中から退院に向けた意欲の喚起や本人の意向に沿った移行支援、地域生活を支えるサードピスの提供、居住の場の確保を含む高齢の精神障害者に対する支援など、関係部署が連携し、組織横断的に取り組む必要があります。精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを構築し、地域で精神障害者が生活を継続できるように支援を行き渡らせていきます。	

重点的な取組 4 就労支援の充実【個別施策④】

障害者の就労意欲の高まりと、企業における障害者雇用に対する理解や法定雇用率の引き上げ等が追い風となる一方、景気の低迷等による社会情勢が見通せない状況です。就職や職場定着の支援など一人ひとりのニーズにあった支援を行えるよう、新宿区勤労者・仕事支援センターや就労支援事業所等との連携による重層的な就労支援を続けま

す。また、企業に対しても障害者が安心して働き続けられる環境整備を働きかけていきます。

重点的な取組 5 障害理解への啓発活動の促進【個別施策⑤】

障害者差別解消法が施行されましたが、まだ認知度は低い状況です。差別の禁止、合理的配慮の提供が浸透するためには障害者への理解が欠かせません。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を好機と捉え、障害理解のための障害者疑似体験を取り入れるほか、障害者と交流する場を設ける等、障害理解を大きく進めるための取組を行います。

重点的な取組 6 ユニバーサルデザインを基本としたまちづくりの促進【個別施策⑥】

「誰もが移動しやすく、利用しやすく、わかりやすいまち」の実現のため、「ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりを進めていきます。ユニバーサルデザインの視点を取り入れた施設整備等ハード面を促進するとともに、ソフト面についても一層の普及・啓発を推進しま

個別施策⑦

障害等のある子どもへの専門相談の推進

重点的な取組

現状と課題

相談支援に関する調査結果で「18歳未満の方と保護者の方」からの回答では「専門性の高い相談」に対する要望が最も高くなっています。区では子ども総合センターや保健センター、教育センター教育相談室が専門性を発揮した相談を受け付けています。

個別施策の方向

子ども総合センターは、児童コーナーや学童クラブも併設された開かれた児童施設であり、区民の誰もが気軽に相談できる環境にあります。発達支援センター（愛称「あいあい」）では、障害のある子どもや発達に心配のある子どもたちの発達相談を行い、必要に応じて発達検査等を実施します。集団指導、理学療法士（PT）・言語聴覚士（ST）・作業療法士（OT）・心理指導員（臨床心理士等）による個別指導、家族への支援の充実を図り、専門性の高い相談を行っています。

子どもたちの将来を見越しながら、発達や障害の状況等に応じて、一人ひとりの子どもが適切な教育を受け、可能性を最大限に伸ばさせることができ、教育の場を案内するため、就学時だけでなく、就学後も保護者が気軽に相談できるよう就学相談による支援の充実が求められます。

施策に関する主な事業

子ども総合センターにおける事業

- ・発達相談（電話相談/来所相談）
- ・発達支援（集団・親子通所、単独通所、就園児グループ）

（個別指導・作業療法、理学療法、言語療法、心理指導）

教育支援課における事業

- ・就学相談

第2期障害児福祉計画・第6期障害福祉計画に基づく事業

- ・障害児相談支援
- ・計画相談支援

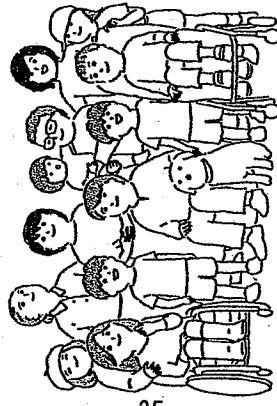
	費 目	予算額	内 訳
支 出 区 分	①使用料及び賃借料	109,350 円	富久町周辺貸し会議室 8,000 円/時間×7 時間×1 部屋=56,000 円 百人町3丁目周辺貸し会議室 53,350 円(7 時間利用)=53,350 円
	②消耗品費及び印刷費	63,000 円	A4 チラシ(片面カラー) 一枚 3 円×15,000 枚=45,000 円 配布先: 新宿区内の図書館、児童館、各掲示板、街頭配布 A1 ポスター(片面カラー) 一枚 1,800 円×10 枚=18,000 円
	③委託費	110,000 円	A4 チラシ(片面カラー)デザイン・原稿委託 50,000 円 A1 ポスター(片面カラー)デザイン・原稿委託 60,000 円
	④講師謝礼	172,000 円	言語聴覚士 1 名 稼働時間 20 時間×5,300 円=106,000 円(交通費込み) 心理カウンセラー 1 名 稼働時間 20 時間×3,300 円=66,000 円(交通費込み)
	⑤その他謝礼	52,000 円	傾聴ボランティア・設営ボランティア計 2 名 1,300 円×20 時間×2 名=52,000 円(交通費込み)
	⑥交通費	18,000 円	スタッフ 3 名(団体職員 1 名・アルバイト 2 名)イベント2回往復交通費支給 1,500 円(上限)×3 名×2(往復)×2 回=18,000 円
	⑦保険料	5,000 円	イベント賠償責任保険 5,000 円
	⑧その他諸経費	円	
	⑨新型コロナウイルス感染症対策経費	5,500 円	フェイスシールド 500 円×7 名(スタッフ)=3,500 円 アルコール消毒液 1,000 円×2 本=2,000 円
	⑩人件費	115,500 円	団体構成員 1 名分人件費 時給単価 1,700 円×45 時間=76,500 円 アルバイト 2 名分人件費 時給単価 1,300 円×15 時間×2 名=39,000 円
支 出 区 分	事業費 (①から⑩の合計)	650,350 円	
	⑪ファンドレイジングに関する経費	30,000 円	リスティング広告運用 1,000 円/日×30 日= 30,000 円 ※東京都内(主に新宿区)で地域設定して出稿、イベント専用の寄附ページに飛ぶようにする。
	⑫助成対象経費 (事業費+⑪)	680,350 円	
	⑬助成対象外経費	円	
	事業 総 額	680,350 円	
収 入 区 分	内 容	予算額	積算根拠 (内訳)
	㊦事業収入 (参加費、資料代等)	円	
	㊦寄附金等	150,000 円	CSR 活動による企業寄付/個人寄付収入
	㊦補助金収入	円	
	㊦協働推進基金助成金	455,000 円	
	㊦団体負担金	75,350 円	
収 入 区 分	収 入 総 額	680,350 円	

.....
吃音があっても質問しやすい
.....



スタッフは全員吃音者。吃音があって学校では先生に質問ができない子も青空教室では気兼ねなく質問できます。分からないことを解決することで学習意欲向上を促します。

.....
お子様の多様性への理解に
.....



35

青空教室は吃音児以外にも他に障がいがある子も受け入れています。

吃音者スタッフとの交流を通して、多様性への理解や人との違いを受け入れる心を育みます。

.....
自己肯定感やプラス思考を育む
.....

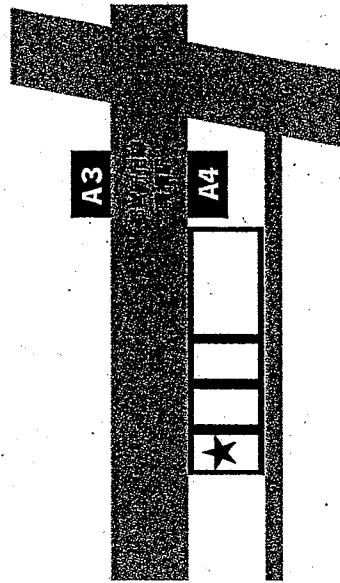


吃音や他の障害や病気がある子ども達は社会の無理解から自信を無くしがちです。青空教室では自己肯定感やプラス思考を育むワークを取り入れて逆境に置かれても幸せに生きていく力を育みます。

吃音当事者への自立学習支援
非吃音当事者への社会福祉支援教育

SCW青空教室

所在地 〒162-0065 東京都新宿区住吉町1-18
TVB曙橋ビル5F



・都営新宿線「曙橋駅」A4出口より徒歩約1分

お問い合わせ、申し込みはこちら
メール：info@npo-scw.org
LINEでのお問い合わせはこちら

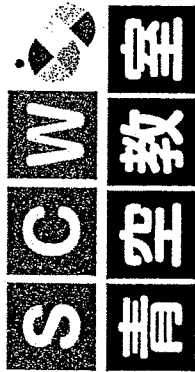


営業時間 13:00-18:00

開室日 日曜日



吃音当事者への自立学習支援
非吃音当事者への社会福祉支援教育

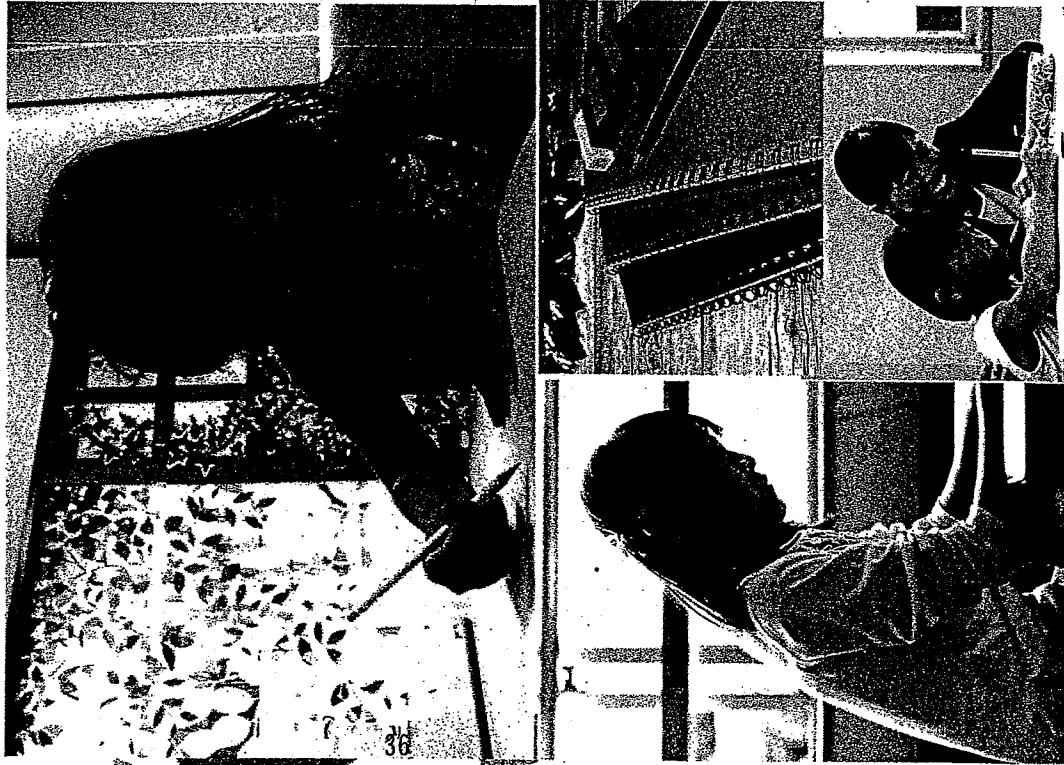


吃音 が気にならない学びの場で
可能性を広げよう！

NPO法人 日本吃音協会 (SCW)

吃音がある子には、安心できる学習の場の提供を 吃音がない子には、吃音について学べる場の提供を

サービス内容



青空教室は吃音がある子もいない子も仲良く学習できる場所です。宿題や自主学習で分らないところをNPO法人日本吃音協会のスタッフがサポートします。

吃音がある子は吃ることが心配で分らない部分を先生に聞くことが難しいこともあります。青空教室はそんな子どもの悩みを解決して安心して勉強できる環境があります。

吃音がない子も青空教室のスタッフとの交流を通して吃音への理解や多様性・人との違いを受け入れる心を育めます。

対 象

・小学生～中学生

開所日・時間・受講料

・毎週日曜 13:00-18:00
・月額14,000円(税込) おやつ・飲み物代含む

学習サポート科目

国語、算数、英語、社会、理科

通室の流れ

お問い合わせ→体験授業→申し込み

※学習塾ではないため受験対策はサービス対象外です。

※ノートや文房具などはご持参ください。

※送迎サービスはありません。



本事業の背景

●NPO法人日本吃音協会(SCW) 理事長 藤本浩士
「吃ることが怖くて先生に質問ができなかった」
「学校の先生に吃音症を理解されなかった」

多くの吃音当事者がこのような現状に苦しんでいます。

このような現状を変えるべく、当法人では吃音がある子には、安心できる学習の場の提供を 吃音がない子には、「吃音」について学べる場の提供をスローガンに小・中

学生の吃音当事者にはSCWスタッフによる学習指導を行い小中学生の非吃音当事者には吃音症(障がい教育)について学べる場の提供を行うことを決断致しました。

SCW青空教室が多くの方の方の学びの場となるようスタッフ一同一丸となって努めてまいります。

運営団体

NPO法人日本吃音協会(SCW)

ビジョン

心から「どもれる」街と人と社会づくり

ミッション

120万人の声を聴き、120万人の思いをカタチに

活動内容

・吃音者が繋がるオンラインサロン事業
・吃音者 家族向けメディア事業
・吃音支援イベント事業
・吃音者向けIT制作事業

当事業の収益はNPO法人SCWの運営費として使われます。

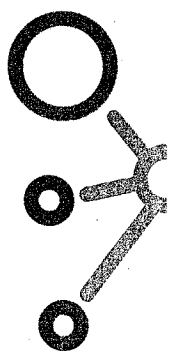
R.4 協働推進基金助成金
一般事業助成二次評価

吃音に理解のある地域共生社会



私たち日本吃音協会について

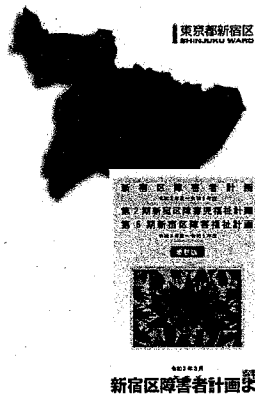
- **本部**：東京都新宿区住吉町1-18
- **メンバー**：240名以上(理事長・事務局員含む)
- **設立**：任意団体(2021/5/1) NPO法人 (2021/11/11)
- **ビジョン**：心から『どもれる』街と人と社会づくり
- **プロジェクト**：人・街・社会という軸でプロジェクトを運営



- | | |
|-------------|---------------------------|
| 人づくりプロジェクト | イベントの企画運営・メンタリング活動(お悩み相談) |
| 街づくりプロジェクト | 吃音の子たちの学習サポート・就職転職支援 |
| 社会づくりプロジェクト | SNSやYOUTUBEでの吃音の啓発活動 |

背景(地域課題・社会課題)①

特定非営利活動法人
日本吃音協会



新宿区障害者計画理念

- ・ 障害者が尊厳を持って生活できる地域共生社会の実現
- ・ バリアフリー社会の実現
- ・ 必要なときに必要な支援を受けることができる地域共生社会の実現

新宿区が目指す区のあり方

基本目標

- I 安心して地域生活が送れるための支援
- II ライフステージに応じた成長と自立への支援
- III 地域共生社会におけるバリアフリーの促進

達成するための49個別施策



障害等のある子どもへの専門相談の推進 【重点的取り組み】



障害理解への啓発活動の促進 【重点的取り組み】

2

背景(地域課題・社会課題)②

特定非営利活動法人
日本吃音協会

課題① 吃音症の専門相談を行う機関がほとんどない



コロナ禍の影響で新宿区のことばの教室に通う児童が15人から3,4名までに減少【聞き込み調査】
吃音症を専門的に診療する病院の多くが数ヶ月以上の予約待ち / 紹介状が必要なケースが多数【電話調査】

課題② どこに相談すればいいのかわからない



日本吃音協会が実施する相談会イベントでの保護者の悩みのヒヤリングの結果【ヒヤリング結果】

課題③ 吃音症への認知や理解が社会レベルで乏しい

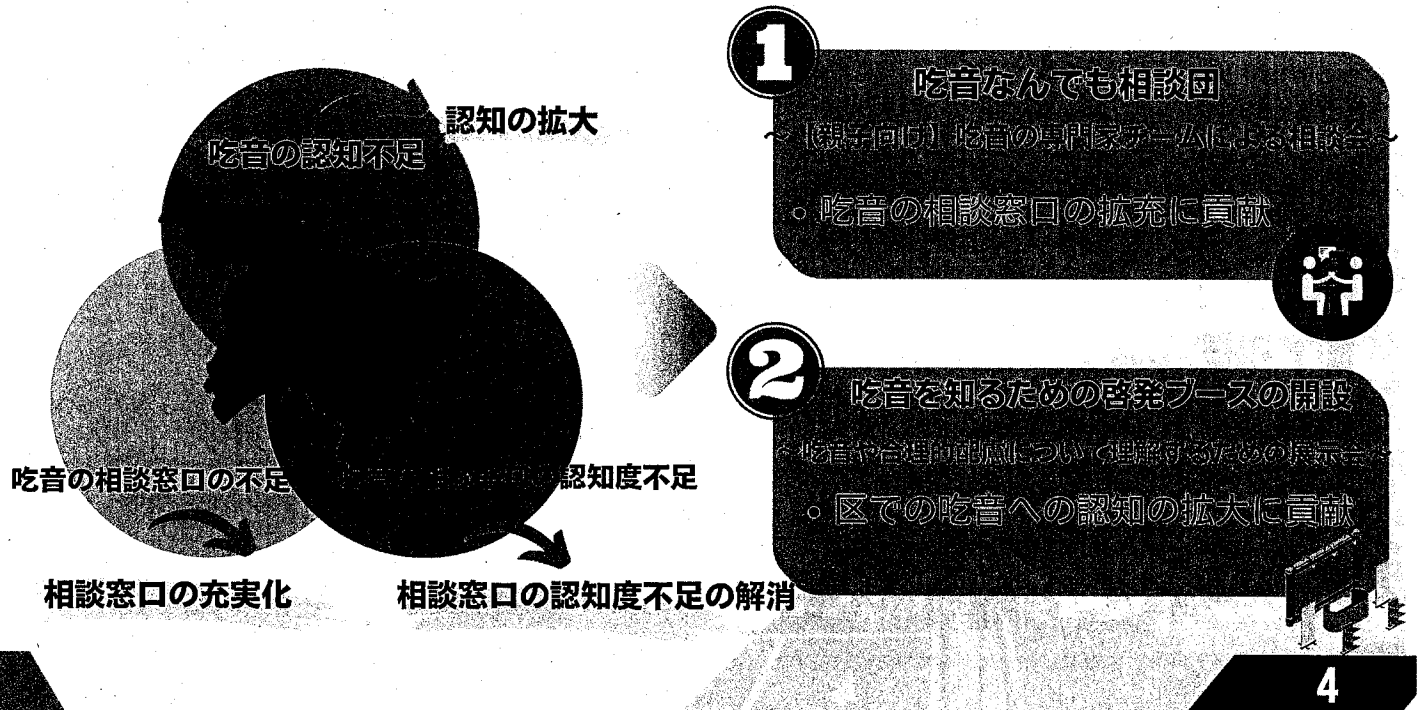


「吃音の配慮や理解が足りているか」の質問に対して 93.7%の回答者が「吃音への理解や配慮が足りていない」・「足りていないが昔よりも改善した」【アンケート調査】

3

地域課題・社会課題の解決方法

特定非営利活動法人
日本吃音協会



日本吃音協会の強み

特定非営利活動法人
日本吃音協会

吃音を真似され、いじめられる。
先生から「ちゃんと話さない」と言われる。

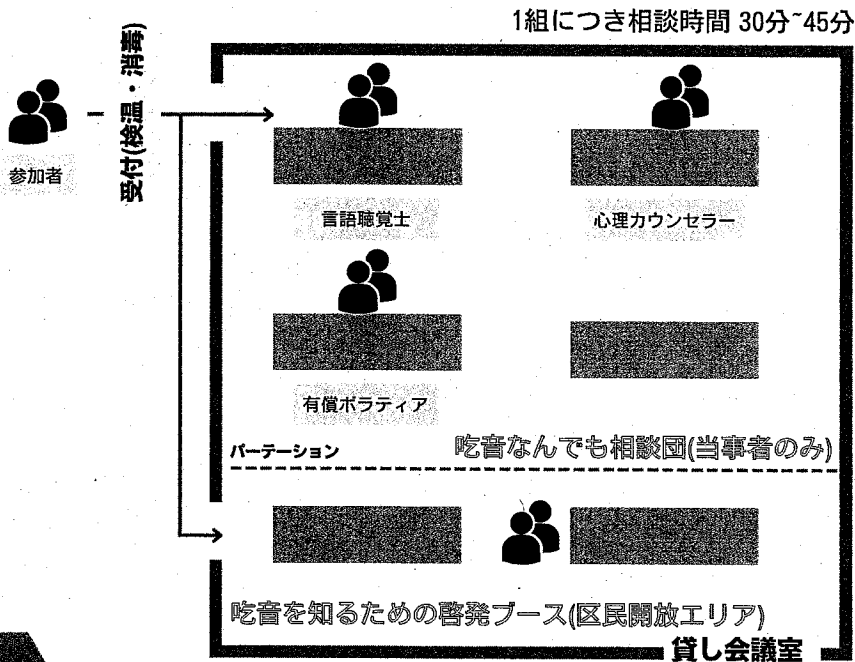
子供の吃音をどこに相談していいのかわからない。
子供が辛そうに話しているのを見るのが耐えられない。



5

プロジェクト概要① (会場 2回)

特定非営利活動法人
日本吃音協会



日時：9月~12月のうち2回。土曜日もしくは日曜日の10時から16時までを予定

場所：貸し会議室
SABORI(大久保)/ワイルド貸し会議室高田馬場

人数：吃音なんでも相談団 (15組/回)
吃音を知る展示ブース (23名/回)

吃音なんでも相談団
⇒ 新宿区に在住の吃音の子供たちやそのご家族

吃音を知る展示ブース
⇒ 富久町 7104 人、百人町 3 丁目 5415 人その周辺に
住む区民

相談員：言語聴覚士・心理カウンセラー・有償ボランティア

周知方法：申請団体のSNSやメディアに拡散、児童館や図書館、区施設や掲示板へのポスターの掲載

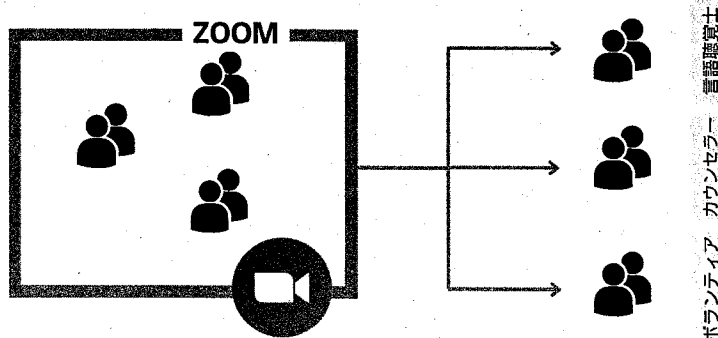
6

プロジェクト概要② (オンライン1回)

特定非営利活動法人
日本吃音協会

吃音なんでも相談団(当事者のみ)

1組につき相談時間 30分~45分



ブレイクアウトルームで部屋を割り当て

吃音を知るための啓発ブース(セミナー形式)



日時：9月~12月に1回。土曜日もしくは日曜日の10時から16時までを予定

場所：ZOOM

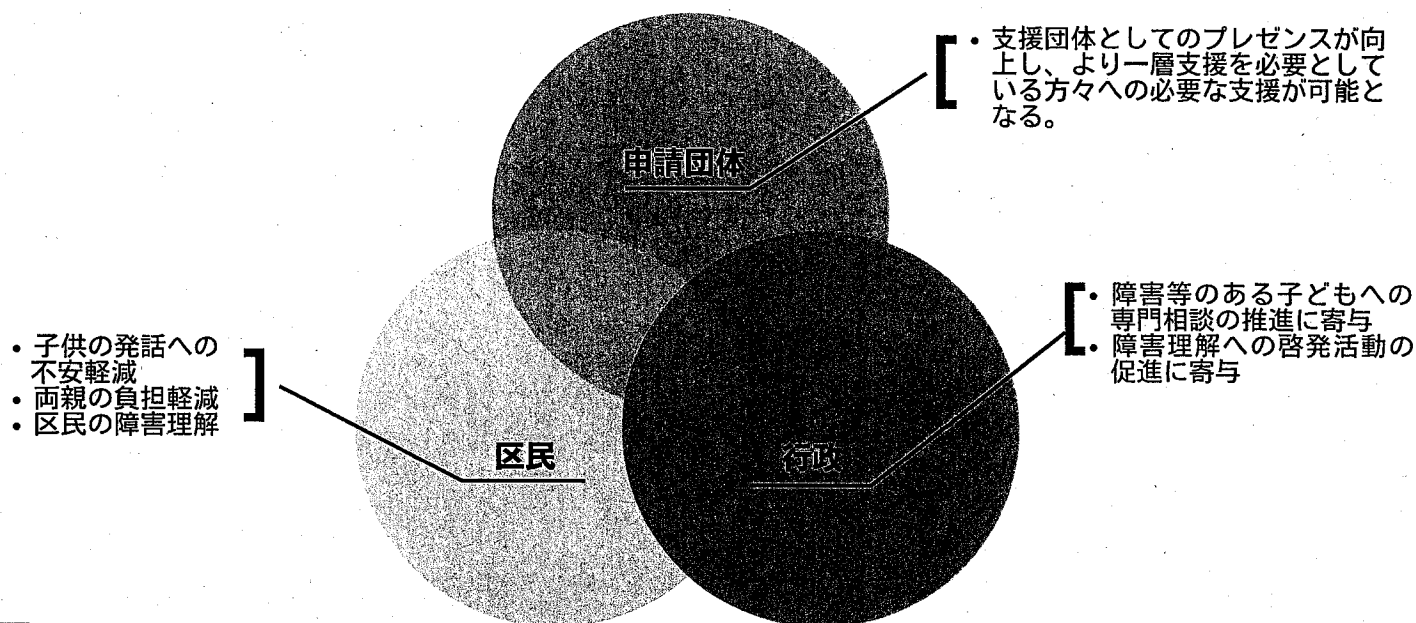
人数：吃音なんでも相談団 (15組/回)
吃音を知るセミナー(23名/回)

相談員：言語聴覚士・心理カウンセラー・有償ボランティア

周知方法：申請団体のSNSやメディアに拡散、児童館や図書館、区施設や掲示板へのポスターの掲載

7

当助成事業で得られる効果



8

今後の展望

展望① オンライン・オフラインでの相談窓口の拡充

本事業にて得られた知見を元に、オンライン・オフラインでの相談体制の強化や窓口の充実化に活かす。

展望② 行政・申請団体・専門家チームの連携の強化

新宿区内での障害理解や専門相談体制の強化のために連携を行う。

展望③ 社会貢献団体として持続的な活動ができるための活動を強化

企業との協働や企業・団体へのCSR活動を通して、活動資金の確保を行う。サステナブルに活動ができるための仕組み化を行う。

9

ご静聴いただき誠にありがとうございました。



特定非営利活動法人
日本吃音協会

事業計画書

団体名	特定非営利活動法人 10代・20代の妊娠SOS 新宿ーキッズ&ファミリー
事業名	歌舞伎町夜間パトロールと相談所事業
① 事業目的・概要	ア 事業目的 虐待やDV、貧困等の養育困難家庭に育ち、家や学校、地域に居場所を失くし歌舞伎町で生活せざるを得なくなっている若年女性を、性被害や性暴力、望まない妊娠、あらゆる犯罪から守り、行政など必要に応じた支援につなげ伴走しながら生活の立て直しを支える。
	イ 事業概要 ・歌舞伎町に毎週金曜・土曜の夜間に相談所を設置。歌舞伎町内や近隣を夜間にパトロールしながら、行き場のない若年女性や困難を抱えている若年女性に声をかける。また協力店舗に法人のアクセスや相談所の情報を掲載したカードの設置や店舗内トイレにシール式の相談窓口紹介のチラシを掲示。相談所に来所した若年女性にフードドライブの食品や衛生用品や寄付物品を提供し、悩みや現在の生活状況を傾聴しながら、個別に応じた支援や制度の紹介を行い、本人の同意の元に病院受診や福祉事務所、国保、保健センター、警察等の窓口に行きし機関につなげる。 ・行政支援や関係機関につなげた後も、継続して生活の立て直しや、昼間の仕事への就労や住居の確保が定着していけるように寄り添い伴走しながら援助していく。私たちの法人の相談窓口は、24時間年中無休で支援体制を整えており、行政の窓口が閉まっている夜間や休日でも相談できる安心安全感を伝えていく。
② 地域課題・社会的課題	日本最大の歓楽街である歌舞伎町には、さまざまな風俗店や飲食店、ホテルやパチンコ屋、アダルトショップなどが立ち並び、深夜になってもネオンが明るく人通りは絶えず客引きの声が飛び交う場所となっている。そこにはいろいろな人たちが集まり、同時に行き場のない若者たちが溜まり、徘徊している姿も日常的な光景である。 雑多な人たちが織りなすやり取りの中では、暴力や犯罪も日常茶飯事になっ

て、それに巻き込まれる若年女性も少なくない。

令和4年3月15日発表の厚労省及び警察庁の令和3年度の自殺者数概況によると、10歳から19歳の自殺者数が令和3年に前年度比28人減少し749人だったものの、平成28年から令和2年(777人)まで増加が続いた。10代の自殺者数の増加にみられるように中高生を中心とした希死願望の青少年少女が歌舞伎町に集まるようになり、特にこの2年は増加の一途である。正確な人数は警視庁でも把握しきれず、1,500人ともそれ以上とも言われている。その集団は、「トー横キッズ」と呼ばれ、私たちが把握しているだけでも、3人前後のグループから150人余りのグループになっている。この中高生のグループを「半グレ集団」と呼ばれる反社会的な行動や犯罪に及ぶグループが近づき、飲酒に巻き込んだり、性風俗や売春行為を強要して犯罪被害に合う中高生も増えている。

2022年3月2日の警視庁発表によると、令和3年一年間で歌舞伎町で補導した少年少女たちが180人(例年の3倍)に及び、家庭に帰しても居場所が無いためにすぐに家出をして戻ってきってしまう現状が発表されている。

また、コロナ禍の中で、若年女性が失業して住まいを失くし生きていくために歌舞伎町に辿り着いたり、幼少期から虐待やDV、貧困等の養育困難な環境で育ち、家や学校、地域に居場所を失くして歌舞伎町をさまよう若年女性の姿が増加している。2022年1月から週2回の歌舞伎町夜間(午後20時前後から午前0時頃まで)のパトロールを再開してみて、その現状がより一層進んでいることを実感した。

そういった若年女性たちから話を聴きとると、幼少期からの被虐待経験やDV体験で深く心身ともに傷ついており、自らSOSを発することを諦め自己責任と自分を責めていることも多く希死願望も強い。信頼できる身近な大人を持たず、性被害にあったり、心が破壊され性依存になっていることも多い。

併せてこの1年特に、ツイッターやSNS等で若年女性たちの姿が拡散され、他県ナンバーの車や若年女性の性目的の男性や、搾取しようとする半グレ集団や犯罪集団が支援者を装い、若年女性に近づき性風俗や性被害や性暴力に取り込むトラブルも増加している。警視庁も、この4月1日から売春摘発等を強化し4月7日には24人の若年女性が売春防止法違反で摘発されている。新宿区も委託した自警団を配置しているが、支援と両輪でないと根本解決にいたらない。

法人が週末に開所している相談所に来所した若年女性たちの話を否定せず傾聴を重ねる中で、SOSを発してよい意識を高めている。その中で、トラブルに巻き込まれることを未然に防ぎ、現状から脱却したい願望を現実化できるように寄り添い伴走しながら、生活の立て直しを支える支援が必要である。

2022年1月から3月の間にも、生活の立て直しをしたいと昼間の仕事の求

	職活動を始めた女性も4人になり、1人は介護の職場に就職できた。これらの支援は、行政だけでは対応しきれない。 私たち法人は2022年1月から2月に10代200人、20代200人に「予期せぬ妊娠に関するインターネット調査」を実施した。「自身が予期せぬ妊娠をしてしまった場合、誰かに相談することができますか?」と尋ねたところ、約2人に1人(44.5%)が「誰にも相談できない」と回答している。この調査からわかるように、幼少期から虐待やDV、養育困難の中で育ち居場所が無く歌舞伎町を彷徨っている若年女性たちはさらに、助けを求める言葉を持たない。歌舞伎町の地域特性から行政と連携しながら根本解決につながるように継続して寄り添える支援体制が必要である。
③ 活動内容 (イベントが複数ある場合は、こちらのページを複写して作成してください)	I. イベント(会議)名: 歌舞伎町夜間パトロール及び無料相談所開所事業 ア イベント(会議)の開催予定等 活動内容: 歌舞伎町夜間(午後8時～午前0時)のパトロール及び無料相談所開設及び相談支援。 : パトロール時に、グッズと一緒に相談窓口案内のチラシとカードを手渡し相談所と相談窓口の周知を図りながら、心配な様子の若年女性に「困ったことが有ったら相談できる」ことを声かけをしていく。 : 相談所に来所した若年女性にフードドライブの食品や衛生用品や寄付物品を提供し、悩みや現在の生活状況を傾聴しながら、個別に応じた支援や制度の紹介を行い、本人の同意の元に病院受診や福祉事務所、国保、保健センター、警察等の窓口に同行し関係機関につなげる。 特に、病院には、必要な治療を受けられるように受診のたびに同行し本人が自分の体調を言葉に表現できるようになるまで寄り添う。 : 寄り添いと傾聴、情報の提供を繰り返しながら、現状から脱却したい、できる希望が描けるように伴走していく。 実施期間: R4年7月 ～ R5年3月 実施回数: (毎週金土) 合計79回 実施場所: パトロール場所=歌舞伎町内: 相談所=日本駆け込み寺を借り上げ) イ 対象者及び参加予定人数 対象者: 歌舞伎町を徘徊する10代から20代前半の若年女性 参加予定人数: のべ(240)名 ウ 周知 <媒体> ☒ポスター ☒チラシ ☒HP ☒その他(毎月発行の活動ニュース) <周知先> ☒区施設(特別出張所、地域センター、図書館等) ☒区直営掲示板 ☒その他(若年女性が入りやすいネットカフェ、デパート、飲食店等) エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載)

	団体構成員 (100) 名 講師等 () 名 アルバイト () 名 ボランティア (140) 名
	Ⅱ. イベント (会議) 名 : ()
	ア イベント (会議) の開催予定等
	活動内容 :
	実施期間 : R 年 月 ~ R 年 月 実施回数 : () 回 / 月・年 実施場所 : オンライン ・ 会場 ()
	イ 対象者及び参加予定人数
	対象者 : 参加予定人数 : のべ () 名
	ウ 周知
	<媒体> ☐ ポスター ☐ チラシ ☐ HP ☐ その他 () <周知先> ☐ 区施設 (特別出張所、地域センター等) ☐ 区直営掲示板 ☐ その他 ()
	エ スタッフ等人数 (のべ人数を記載)
団体構成員 () 名 講師等 () 名 アルバイト () 名 ボランティア () 名	
安全対策等 (箇条書きで ご記入ください)	ア 事業実施にあたっての具体的な安全対策
	週末夜間の繁華街は、危険やリスクの多い繁華街という立地から、対策として男女でペアになって実施する。地域に連携できる薬局や店舗があり、何かの際には安全安心を確保できる連携体制づくりをしている。 従事者は、防犯ブザーも携帯している。
	イ 新型コロナウイルス感染症対策
	・パトロールの感染症予防対策：医療用マスクと手指のアルコールを使用 ・相談所の感染症予防対策：医療用マスクを使用、相談所にもアルコール消毒液とマスクを設置し来所者に手指の消毒とマスク着用を義務付けている。相談の際には1メートル以上の間隔をとっている。
⑤ 期待される効果	ア 区民や地域社会への成果・効果

	賑わいの街としての代名詞たる歌舞伎町の健全性を少しでも回復し、区民にとっても安心安全な街となるようパトロールを継続していく。行政や地域と連携しながら、犯罪やトラブルが少しでも減少するように、深刻な被害が発生しないためのリスクヘッジとなる。
	イ 現状や課題に対する成果・効果 若年女子の心の拠り所、居場所として機能する。不安を抱える女性に丁寧に寄り添いながら、必要な場合は行政の窓口に繋げるなど関係機関と連携していくことができる。売春取り締まりが強化される中で、より行き場を失った女性たちは、水面下で活動が続けたり、一度捕まっても再び同様のことを繰り返す場合も少なくない。支援を継続することが彼女たちの立ち直りに不可欠と思われる。
⑥ 先駆性・専門性	パトロールや夜回りをしている団体は複数あるが、パトロールだけでは根本解決をしていかない。相談所における相談支援を平行し継続して寄り添う支援を行うことで根本解決につながっていくが、それに応えていく支援体制は不足している。私たちの本事業は、それを補える活動となっている。 パトロール及び相談所の運営と相談支援を行うスタッフは、保健師、助産師、精神保健福祉士、社会福祉士、少年院で更生保護支援を実施しているなどの専門職のメンバーで構成している。
⑦ 今後の展望	若年女性を支援している当法人として、以前より夜間パトロールを断続的にしていた社会貢献事業であり、パトロールだけでは解決しない。相談所における相談支援を平行することで引き続き実施していきたい。歌舞伎町で活動が定着していくことによって、若年女性の当事者のみならず、ボランティアや住民ともつながりをもち、誰もが気軽に相談や立ち寄りができるようにしていきたい。
⑧ 過去にこの助成を受けた実績	助成年度（平成 30 年度）事業名（10 代、20 代の「望まない妊娠」や困難を抱えている若者の相談支援事業） 助成年度（ ） 事業名（ ） 助成年度（ ） 事業名（ ）
⑨ この事業に対する他の助成の有無 （申請中のものを含む）	☐有 ☒無 有の場合は、助成名称（団体）及び助成額 助成名（団体名）： 助成額： ※新宿区の他の助成制度からの助成が決定した場合には、本助成金は受けられません。新宿区以外の団体からの助成金がある場合には、その金額を差し引いた額が本助成額になります。本助成金への申請後に、同事業で新宿区外の補助金へ申請される際は、必ずご相談ください。

令和3年中における自殺の状況

令和4年3月15日

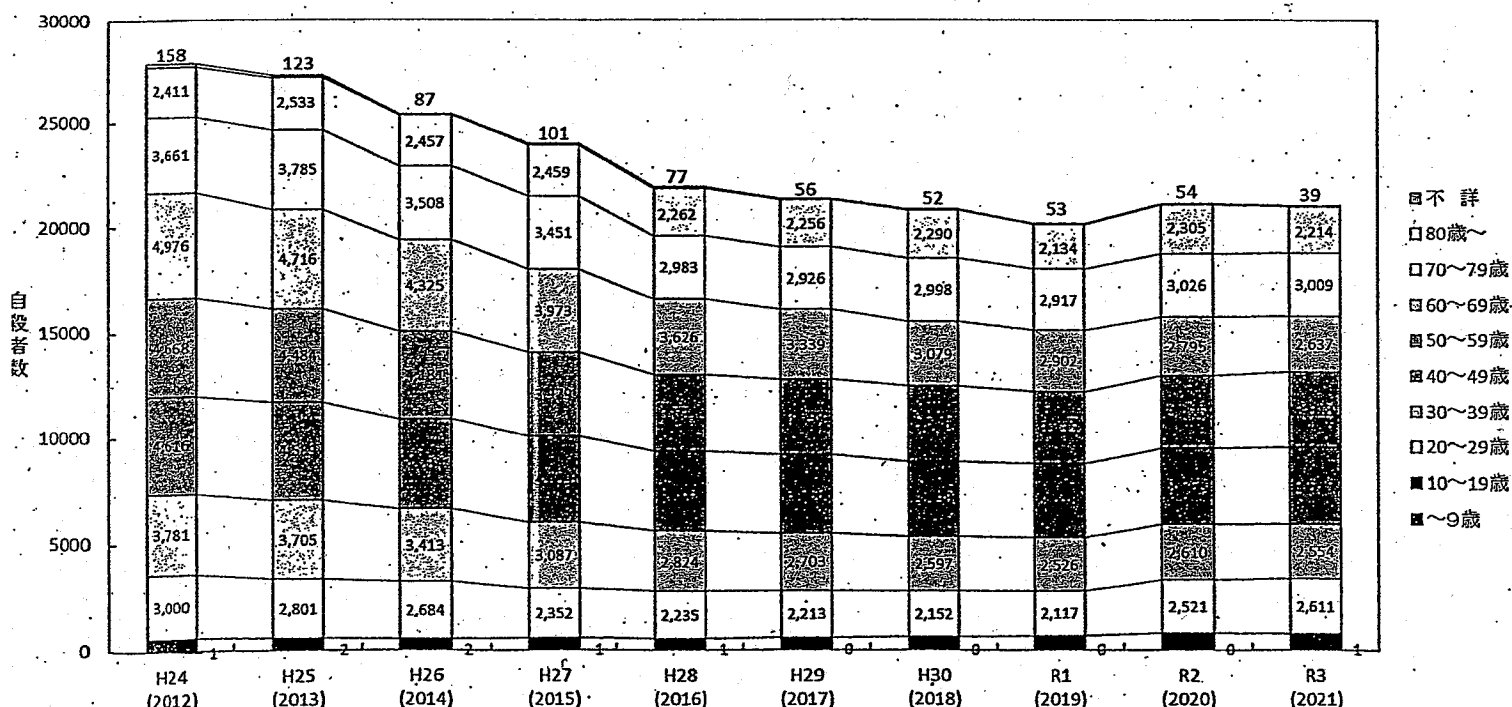
厚生労働省自殺対策推進室
警察庁生活安全局生活安全企画課

年齢階級別自殺者数の年次推移

令和3年は令和2年と比較して、20歳代、40歳代及び50歳代の各年齢階級で増加した。

増加した年齢階級の中では、50歳代が最も大きく増加し、193人の増加となった。一方、減少した年齢階級の中では、60歳代が最も大きく減少し、158人の減少となった。

(単位:人)



資料:警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

《“予期せぬ妊娠”に関する調査》10代は20代よりも“予期せぬ妊娠”問題を意識している？！ 10代は20代に比べて20ポイント以上差をつけ、76%が相談窓口での相談を希望

～コロナ禍の緊急事態宣言の影響下で、中高生の家庭内における性虐待や性暴力の被害の相談が例年に比べ増加～

特定非営利活動法人 10代・20代の妊娠SOS新宿ーキッズ&ファミリー

2022年3月31日 15時00分



特定非営利活動法人10代・20代の妊娠SOS新宿ーキッズ&ファミリー（所在地：東京都新宿区、理事長：佐藤 初美、以下「妊娠SOS新宿」）は、10代・20代の女性合計400名（年代均等割付）を対象に、「“予期せぬ妊娠”に関する調査」をインターネット調査にて実施しました。

*本調査結果や分析をご掲載の際は『特定非営利活動法人10代・20代の妊娠SOS新宿ーキッズ&ファミリー調べ』と明記してください。

妊娠SOS新宿では、「妊娠したかも」と悩んでいるけれど誰にも相談できない10代・20代の女性へのサポート活動を行っています。今回の調査はコロナ禍において中高生の家庭内における性虐待や性暴力の被害の相談が例年にくらべて増えたことを受け実施しました。

<調査結果内容>

【“予期せぬ妊娠”への認識】10代は20代より“予期せぬ妊娠”への認識、実感が強いことが判明

- ① コロナ禍での“予期せぬ妊娠”の増加を半数以上は未認知。10代は20代に比べ5%認知が高い結果。
- ② “予期せぬ妊娠”について、全体では「増えていると感じない」が約70%だが、10代は20代に比べて5%多く、「増えている」と感じていた。
- ③ 約80%が、自分には“予期せぬ妊娠”が起こらないと思っている。

【“予期せぬ妊娠”の相談先】“予期せぬ妊娠”において、相談できない人が半数も！

- ④ 自身が“予期せぬ妊娠”をしてしまった場合、約2人に1人が誰にも相談できない。
- ⑤ 「相談できる」人でも、約4人に1人は「親には相談できない」。
- ⑥ 「親に相談できない」人の相談先の第1位「友人」（64.7%）、第2位「親以外の親族」「病院の先生」（17.6%）、第4位「専門機関」（13.7%）。

【“予期せぬ妊娠”を相談できる場所】10代は20代に20%以上差をつけ、相談窓口での相談を希望！

- ⑦ 約8割が“予期せぬ妊娠”を相談できる場所があることを知らない。
- ⑧ “予期せぬ妊娠”をしてしまった場合、10代の76%が「相談窓口で相談したい」。
- ⑨ 相談窓口で相談する際に不安に思うことは第1位「お金がかかりそう」（43.0%）、第2位「解決しなさそう」（37.5%）、第3位「相談に時間がかかりそう」（30.0%）。

<調査概要>

- ・調査方法：インターネット調査
 - ・調査時期：2022年3月
 - ・調査対象：10-20代女性 計400名（10代 200名、20代 200名）
- ※小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

- ・【“予期せぬ妊娠”への認識】10代の方が“予期せぬ妊娠”を意識している傾向

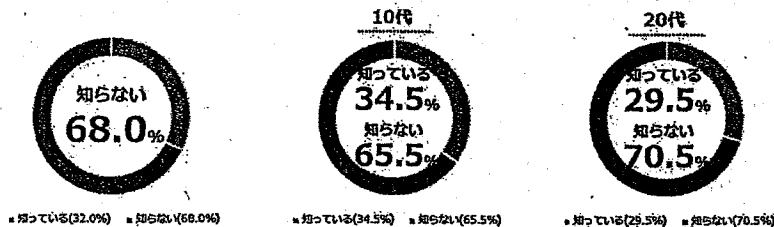
① コロナ禍での“予期せぬ妊娠”の増加を半数以上は未認知。10代は20代に比べ5%認知が高い結果。

『社会的に“予期せぬ妊娠”といわれる望んでいない妊娠がコロナ禍で増加していることを知っていますか』と尋ねたところ、「知っている」が32.0%、「知らない」が68.0%という結果に。また、10代は「知っている」34.

①「予期せぬ妊娠」に関する調査 10代は20代よりも「予期せぬ妊娠」問題を意識している

5%、「知らない」65.5%、20代は「知っている」29.5%、「知らない」70.5%と回答し、5%の差ではありませんが、10代の認知度が高いことがわかりました。

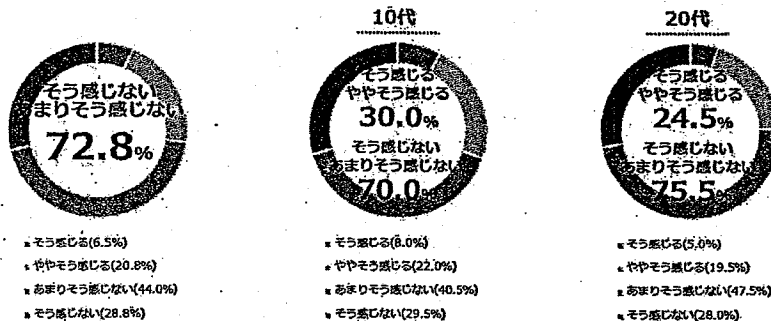
Q. 社会的に「予期せぬ妊娠」といわれる望んでいない妊娠がコロナ禍で増加していることを知っていますか？



②「予期せぬ妊娠」について、全体では「増えていると感じない」が約70%だが、10代は20代に比べて5%多く、「増えている」と感じていた。

『実感として「予期せぬ妊娠」が増えているように感じますか』と尋ねたところ、「そう感じる」「ややそう感じる」が27.3%、「そう感じない」「あまりそう感じない」が72.8%となり、7割が増加を実感していません。ただし、「そう感じる」「ややそう感じる」が10代では30.0%、20代は24.5%と、10代の方が増えていると感じています。

Q. 実感として、あなたは「予期せぬ妊娠」が増えているように感じますか？



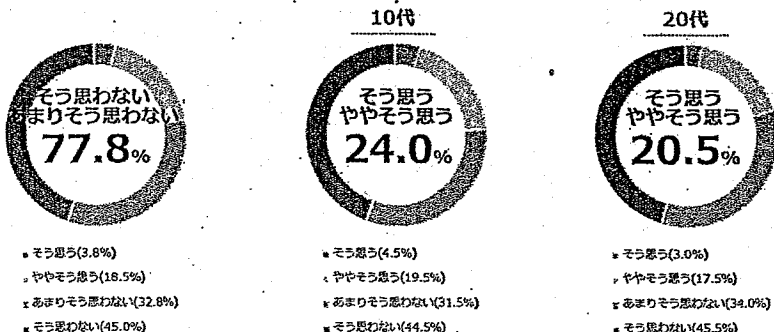
■妊娠SOS新宿 担当者コメント

妊娠SOS新宿では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の影響下で、中高生の家庭内における性虐待や性暴力の被害の相談が例年にくらべ増えました。一番安心・安全でなければいけないはずの家庭が、恐怖の場になることは許しがたいことです。ほかにもコロナ禍のために若年女性が失業したり、アルバイトができなくなって生活が困窮してしまうケースも増えています。そのため、①～②においての認知度が10代で若干高くなっていると考えています。

③約80%が、自分には「予期せぬ妊娠」が起こらないと思っている。

『ご自身に「予期せぬ妊娠」が起こりえると思いますか』と尋ねたところ、「そう思わない」「あまりそう思わない」が77.8%となりました。「そう思う」「ややそう思う」が10代では24%、20代は20.5%と、10代の方が自身の「予期せぬ妊娠」を意識していることが判明しました。

Q. ご自身に「予期せぬ妊娠」が起こりえると思いますか？

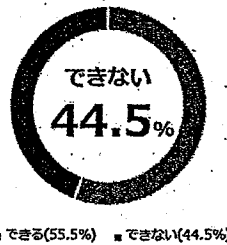


・【「予期せぬ妊娠」の相談先】「予期せぬ妊娠」において、相談できない人が半数も！

④ 自身が“予期せぬ妊娠”をしてしまった場合、約2人に1人が誰にも相談できない。

『もしご自身が“予期せぬ妊娠”をしてしまった場合、誰かに相談することができますか』と尋ねたところ、約半数にあたる44.5%が「相談できない」と回答しました。

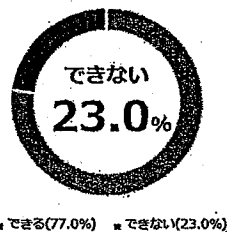
Q.もしご自身が“予期せぬ妊娠”をしてしまった場合、誰かに相談することができますか？



⑤ 「相談できる」人でも、約4人に1人は「親には相談できない」。

前問で「誰かに相談できる（n=222）」と回答した人のうち、『親に相談することはできますか』と尋ねたところ、「相談できない」と回答した人は23.0%となりました。

Q.自身が“予期せぬ妊娠”をしてしまった場合、「誰かに相談できる」と回答した方で、親に相談することはできますか？

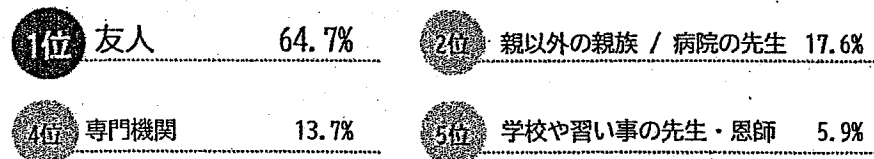


⑥ 「親に相談できない」と答えた人の相談先の第1位「友人」（64.7%）、第2位「親以外の親族」「病院の先生」（17.6%）、第4位「専門機関」（13.7%）。

前問で「親に相談できない（n=51）」と回答した人のうち、『親以外の相談先』を聞いたところ、第1位「友人」（64.7%）、第2位「親以外の親族」「病院の先生」（17.6%）、第4位「専門機関」（13.7%）、第5位「学校や習い事の先生・恩師」（5.9%）という結果に。

また、10代では第1位「友人」（78.3%）、第2位「病院の先生」（21.7%）、第3位「専門機関」（13.0%）、20代では第1位「友人」（53.6%）、第2位「親以外の親族」（28.6%）、第3位「病院の先生」「専門機関」（14.3%）となり、10代のほうがより友人を相談先として頼りにしていることが明らかになりました。

Q.自身が“予期せぬ妊娠”をしてしまった場合、「親に相談できない」と回答した方で、あなたは、親以外のどなたに相談できますか？

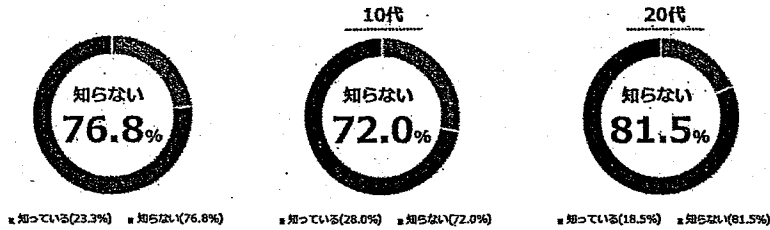


- ・【“予期せぬ妊娠”を相談できる場所】10代は20代に比べて2割以上が相談窓口での相談を希望！

⑦ 約8割が“予期せぬ妊娠”を相談できる場所があることを知らない。

『“予期せぬ妊娠”を相談できる場所があることは知っていますか』と尋ねたところ、76.8%が「知らない」と回答しました。また、「知らない」と回答した人は10代では72.0%、20代では81.5%となり、10代の相談窓口に対する認知度が高いことがわかりました。

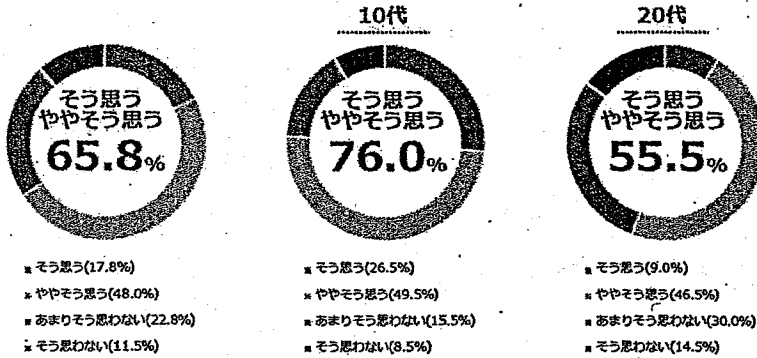
Q.あなたは、“予期せぬ妊娠”を相談できる場所があることは知っていますか？



⑧ “予期せぬ妊娠”をしてしまった場合、10代の76%が「相談窓口で相談したい」。

『“予期せぬ妊娠”をしてしまった場合、相談窓口で相談したいと思いますか』と尋ねたところ、65.8%と半数以上が「そう思う」「ややそう思う」と回答。特に、「そう思う」「ややそう思う」と答えたのが、10代が76.0%となり、20代の55.5%と比較すると、20.5%も多く相談したいと考えていることがわかりました。

Q.あなたが“予期せぬ妊娠”をしてしまった場合、相談窓口で相談したいと思いますか？

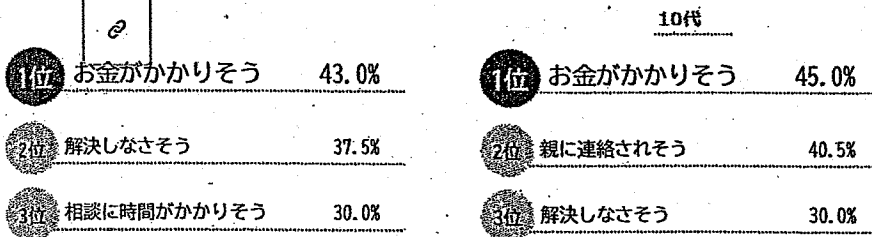


⑨ 相談窓口で相談する際に不安に思うことは第1位「お金がかかりそう」(43.0%)、第2位「解決しなさそう」(37.5%)、第3位「相談に時間がかかりそう」(30.0%)。

『相談窓口で“予期せぬ妊娠”を相談するとしたら、どんなことに不安を感じますか』と聞いたところ、第1位「お金がかかりそう」(43.0%)、第2位「解決しなさそう」(37.5%)、第3位「相談に時間がかかりそう」(30.0%)となりました。

10代では第1位「お金がかかりそう」(45.0%)、第2位「親に連絡されそう」(40.5%)、第3位「解決しなさそう」(30.0%)、20代では第1位「解決しなさそう」(44.0%)、第2位「お金がかかりそう」(41.0%)、第3位「相談に時間がかかりそう」(31.0%)となり、10代は親との関係を気にしていることが判明しました。

Q.あなたが相談窓口で“予期せぬ妊娠”を相談するとしたら、どんなことに不安を感じますか？



■妊娠SOS新宿 担当者コメント

妊娠SOS新宿では、相談内容の秘密を厳守するために匿名かつ無料で相談を受け付けています。また、解決のために必要な場合は実際にお会いし、受診や手続きのサポートも行っています。

・ 10代・20代の妊娠したかもと悩んでいるあなたへ、『ひとり』で悩まないでください

■特定非営利活動法人 10代・20代の妊娠SOS新宿 -キッズ&ファミリー-とは

新宿では、歌舞伎町をはじめ、繁華街で働く10代・20代の女性の多くに、「性暴力」や「望まない妊娠」や「予期しない妊娠」をしてもらえに相談できず、初診料や受診料を払うお金がなくて病院に行けないまま飛込み出産になることも少なからず起きています。

妊娠・出産後も、育児相談、サポートを受けられることを知らずに追いつめられた結果、乳幼児の虐待や生後0

日・0か月の虐待死亡など子どもの尊い命が奪われています。妊娠SOS新宿では、妊娠した女性の心と身体と命と、生まれてくる命を守ります。そして、妊娠したかもしれないと不安を抱えている女性、人工妊娠中絶をして罪悪感等で苦しんでいる女性、出産後の育児に困難や不安を抱えている女性などさまざまな悩みを抱えている10代20代の女性たちとその家族に寄り添い継続してサポートを続けています。

団体名：特定非営利活動法人 10代・20代の妊娠SOS新宿 キッズ&ファミリー

設立年月日：2016年4月15日

法人格取得：2016年9月28日

理事長名：佐藤 初美（さとう はつみ）

電話番号：03-5155-2907 または 080-4676-0428

業務内容：若年世代の妊娠相談をできる窓口 メール・電話相談・訪問相談や受診 や福祉の窓口に行き支援

URL：https://www.10dai20dai-ninshin.com/

<相談窓口>

相談電話番号：070-4283-5199 または 080-4676-0428

相談メールフォーム：https://www.10dai20dai-ninshin.com/soudan

◎ このプレスリリースには、メディア関係者向けの情報があります。

メディアユーザー新規登録

無料

メディアユーザーログイン

既に登録済みの方はこちら

メディアユーザー登録を行うと、企業担当者の連絡先や、イベント・記者会見の情報など様々な特記情報を閲覧できます。

※内容はプレスリリースにより異なります。

プレスリリース > 特定非営利活動法人 10代・20代の妊娠SOS新宿 キッズ&ファミリー > 《“予期せぬ妊娠”に関する調査》10代は20代よりも“予期せぬ妊娠”問題を意識している？！10代は20代に比べて20ポイント以上差をつけ、76%が相談窓口での相談を希望

プレスリリースファイル

種類	調査レポート
ビジネスカテゴリ	財団法人・社団法人・宗教法人
キーワード	妊娠 出産 新宿 相談 妊娠SOS新宿 サポート 妊娠相談 若年世代
関連URL	https://www.10dai20dai-ninshin.com/

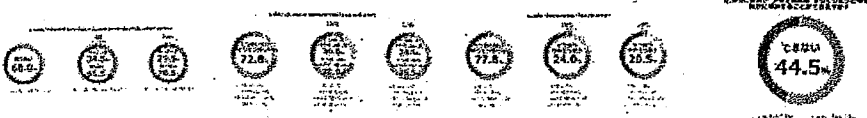
このプレスリリースをシェアする



プレスリリース素材ダウンロード

このプレスリリース内で使われている画像ファイルがダウンロードできます。

プレスリリース画像一覧



収支予算書

費 目		予算額	内 訳
事業費	①使用料及び賃借料	395,000 円	日本駆け込み寺使用料@5,000 円×79 回=395,000 円
	②消耗品費及び印刷費	336,250 円	(パトロール時の配布物)生理用品@300 円×100 個=30,000 円 ハンドクリーム&リップクリーム@200 円×1,000 個=200,000 円 ホッカイロ 30 枚入り@700 円×50 個=35,000 円 アルコール除菌シートアルコール 75%100 パック入り@14,250 円×5 箱=71,250 円
	③委託費	円	
	④講師謝礼	円	
	⑤その他謝礼	546,000 円	ボランティア謝礼(交通費含む)@6,000 円×1 人×79 回 =474,000 円 Facebook 及び Twitter 等維持管理謝礼 @8,000 円/月×9 か月 =72,000 円
	⑥交通費	50,000 円	交通費(駐車場代)@1,000 円×1 人×50 回=50,000 円
	⑦保険料	円	
	⑧その他諸経費	100,000 円	病院受診費用等@5,000 円×20 回=100,000 円
	⑨新型コロナウイルス感染症対策経費	19,950 円	パイオニアマスク F 医療用 5 層@2,350 円×7 箱=16,450 円 手指消毒アルコールミニボトル@140 円×25 個=3,500 円
	⑩人件費	482,400 円	(法人会員分)@6,000 円×1 人×50 回=300,000 円 アルバイト@5,000 円(3.5 時間)×1 人×45 回=225,000 円
事業費 (①から⑩の合計)		1,929,600 円	
⑪ファンドレイジングに関する経費		82,950 円	寄付金募集ダイレクトメール郵送料@94 円×350 通=32,900 円 寄付礼状はがき@63 円×350 通=22,050 円 新規寄付者へ郵送活動報告書@140 円×200 通=28,000 円
⑫助成対象経費 (事業費+⑪)		2,012,550 円	
⑬助成対象外経費		42,600 円	
事業 総 額		2,055,150 円	
収入区分	内 容	予算額	積算根拠 (内訳)
	⑦事業収入 (参加費、資料代等)	円	
	①寄附金等	1,500,000 円	サポーターによる寄付金収入
	⑦補助金収入	円	
	⑤協働推進基金助成金	500,000 円	
	④団体負担金	55,150 円	
収 入 総 額		2,055,150 円	

あなたの力を貸してください



あなたの奇附が10代・20代の妊産婦の安全と
子どもの命を守ります

私たちのとりくみ

匿名メール相談
(24時間・年中無休)
電話相談

(24時間・年中無休)
病院や区役所の福祉・健康保険の窓口や保健センターなどに同行し、妊娠の確認から健康保険証や母子手帳の申請手続き、入院や助産の利用などの手助けを行っています。必要な経費や病院の診療代、生活立て直しへの学習支援や、キャリアアコンサルティング等の支援が行えます。新宿区内に、お金がなく住まいを無くした若年妊産婦のシェルター「雨宿り」を開設しています。

この事業は、日本財団とオラクル有志の会の助成事業です。

新宿は歌舞伎町をはじめ、繁華街で働く10代、20代の女性がたくさんいる地域です。また全国から10代や20代前半の家出等をした女性たちが集まっています。その中には「レイプ」や「望まない妊娠」「予期しない妊娠」を誰にも相談できずにいたり、お金がなく病院にいけないまま出産してしまうことも少なくありません。出産しても適切な育児相談や支援が受けられず、乳幼児の虐待などで、子どもの尊い命が失われてしまっているのは耐え難いことです。私たちは若年の女性への支援と生まれてくる命を全力で守ります。

使い道として
相談のための外出や
病院への付き添い
交通費、居場所
シェルター「雨宿り」の
賃貸料や維持管理費などに
充当しています！

皆さまからの寄付
毎月定期振込
一回1,000円～
不定期振込
一回3,000円～

団体・企業賛助会員
入会金5,000円
年会費一口20,000円～
(何口でも助かります)

あなたのご奇附が
10代・20代の妊産婦の安全と
子どもの命を守ります！

個人の賛助会員
入会金3,000円
年会費10,000円

口座振込みによる寄付
振込先 ゆうちょ銀行
【口座番号】
00160-0-514662
【加入者名】
YOUNG・SOS・SHINJYUKU
法人ホームページにてクレジット
カードの寄付も承っています。
検索キーワードにてご確認
ください。



そのほかに
取組む

子育て支援事業

子育て支援をテーマに講演や講座への講師派遣もしています。保育士のキャリアアップのための講座や自治体の虐待研修など、著書多数で経験豊富なベテラン講師を派遣しています。お気軽にお問い合わせください。

2019年 第53回
キワニス社会公益賞
最優秀賞を受賞しました。
2020年 第55回
社会貢献者賞を受賞しました。

シェルター「雨宿り」

住まいが無くてさまよう10代や20代前半の若い妊産婦が、行政の支援につながらず、ネットカフェや行きずりの男性の部屋を渡り歩かなくても済むように、安心して寝起きのできるシェルターで過ごしながら、自分がどうしたいのか自分の心と向き合う時間を過ごしたり、生活指導や金銭の使い方、就労相談等をそれぞれの抱えている課題に応じて行います。

また、中絶したり、産後の自立を目指して頑張っている若い女性たちが悩んだり心が辛くなった時にシェルターに来て私たちに相談したり、やってきて元気を取り戻して帰っていただきます。

理事長佐藤初美
(手前右)
相談スタッフ。



検索キーワード
にんしん SOS 新宿
まずはHPで活動状況など
をご覧ください！

特定非営利活動法人
10代・20代の妊娠SOS新宿
—キッズ&ファミリー—
理事長 佐藤初美
(精神保健福祉士・社会福祉士
保育士・幼稚園教諭免許)

活動報告 ニュース・2022年4月

3月の相談支援活動より

昨年度も、たくさんさんの温かいご支援をありがとうございました。

おかげさまで3月も、2月にシェルター一泊り→あしたのいえに保護した女性が、他区の福祉事務所が人道的な立場で対応して下さり助産施設に入所できた2日後に無事に出産することができました。みなさまからの「寄付」で出産用品を整えることができました。継続して下さった方が新たな命を支えて下さったみなさま、関係機関の方々に感謝申し上げます。2019年度比で同行支援や訪問支援が増加しています。2021年度は、昨年度比1.53倍の430回でした。2019年度比では3倍になります。特に、病院、福祉事務所の同行支援が増加しています。この2年は、相談者の内10代が53%、20歳から24歳が26%と若年女性が約8割です。虐待やDV、貧困等で養育困難の中で育ち、自分の困ったことを言語化する経験が少ないために、受診しても一人で自分の状態を医師に伝えられません。今年度も、寄り添い奔走を大切に妊婦健診をはじめ病院等への同行支援を行っています。

毎週（金・土）の夜20時から24時に歌舞伎町パトロールや相談所を開設しています。4月から警視庁が歌舞伎町内の荒廃摘発を強化しています。4月7日の一斉摘発で24名が摘発された情報があります。この女性たちには、福祉等の行政支援につなげる取り組みが根本解決には必要です。

2021年度は、コロナ禍の中4月1日から3月31日までに152名の個人、団体の方から頂きました。おかげさまで、2021年度も1口3千円以上のご寄付が、100人以上を超えることができました。深く感謝申し上げます。新年度になりましたので、4月以降にご寄付をいただきましたみなさまを、新たに紹介させていただきます。4月10日現在19名のみな様からいただいています。今年度も、毎月ご寄付を下さるマンスリースーサポーターや賛助会員になって下さる個人の方、企業のみなさまを募集しています。どうぞ、よろしくお申し込み申し上げます。※今年度の事業は、みなさまから頂きました貴重なご寄付と、講師をご依頼頂きました講師謝礼金、日本財団から頂きました助成金で運営します。（紙面の都合上、複数回の寄付の方及び敬称を省略させていただきます）

3月中に、新たにご寄付を言いましたみなさまです。150 大河修二 151 大熊真弓 152 平野寛治（敬称略）

【ご寄付・マンスリースーサポーター】①藤本篤志②S・T③今井弘子④武川さおり⑤高橋桃子（敬称略）

【ご寄付】①根津谷中レディースクリニックス②八木久美子③藤本篤志④S・T⑤今井弘子⑥武川さおり⑦高橋桃子

⑧森本栄子⑨菊池里菜⑩大崎進⑪石川伸子・啓司⑫S・T⑬伊川徹⑭佐藤和央⑮S・N⑯小林都子⑰Y・M⑱

西忠彦・美知子⑳K・S㉑大森靖枝（敬称略）

昨年度の賛助会員【個人】①藤本篤志②西田知佳子③小山倫子④遠藤詩織⑤H・M（敬称略）

【企業・団体】①（株）マミーズフアミリー②コンビウィズ（株）③（株）七福運送（敬称略）

【物品ご寄付】・東京ワセダロータリークラブから毎月育児用品・中島由江（フリーズドライ味噌汁、野菜ジュ

ース・餅等）・新宿社会福祉協議会（オムツ、生理用品、ミルク、米等）・新宿リサイクル活動センター及び西早稲

田リサイクル活動センター・（株）MUJI 良品新宿店・柳井優佳奈（新米、新生児服等）（敬称略）

引き続きの連携関係機関【新宿区（母子手帳の発行・性感染症検査等）・新宿区生活福祉課・新宿区立子ども

総合センター・新宿区立子ども家庭支援センター各所・東京都児童相談センター・中野区（生活保護課・障害者

福祉課）・杉並区（福祉事務所・保健センター・子ども家庭支援センター・東久留米市・都児相・東京都女性相談

センター・行田市（子ども未来課・保健センター・生活保護課）・渋谷区（福祉事務所）・新宿社会福祉協議会・

根津谷中レディースクリニックス・竹下医院・ジャスミンレディースクリニックス・板橋区医師会病院・都立広尾南

花・都立墨堤病院・都立松沢病院・都立大塚病院・賛育会病院・はしもとクリニックス経営・新宿警察署・東京医

大・東京女子医科大学・聖母病院・国立国際医療研究センター・慈愛寮・かしわヴィレッジ・のぞみ荘・婦

人保護所いづみ寮・環の会・ニクス薬局（歌舞伎町の夜の薬局）・東京ワセダロータリー・NPO 法人レスキ

ーハープ・ワークスデーションJADE・Colabo・千葉県（児相・各自治体保健センター・女性相談等）・聖イ

ーチオ教会「あしたのいえ」・NPO 法人キミノトナリ・NPO 法人ライフパトン・全国妊娠SOSネットワーク

【 3月の主な活動 】

★3月 1日・歌舞伎町夜間パトロールで相談してきた若年女性に相談員が同行し、新宿区の福祉につなりました。

★3月 2日・助産師スタッフ、週1回の金銭管理面談（2日、9日、17日、23日、30日）と9日に成年後見人導入

を中野区の福祉に同行相談と不足の家電購入支援を行い、23日29日に法務局や役所に同行支援実施

・新宿リサイクル活動センターからフードドライブの食品を頂きました。（2月・4日）

★3月 3日・助産師スタッフと、妊婦健診に受診同行しました。

★3月 4日・聖イグナチオ教会のあしたのいえに移った女性に食品を届け体調確認をしました。

・歌舞伎町夜間パトロールで相談してきた若年女性をジャスミンレディースクリニックス新宿院に同行受診

・会計事務所、打ち合わせを行いました。

★3月 5日・東京ワセダロータリーアクトの学生ボランティアのみなさんが、MUJI 良品新宿店からシェルター一泊り

にフードドライブの食品を運んでくださり、若年母子家庭と困難若年母子に食品を宅配発送をしました。

★3月 6日・相談スタッフ3人が、子ども研究会の研修に参加しました。

★3月 7日・歌舞伎町夜間パトロールで相談してきた若年女性に同行し、新宿区の福祉につなりました。

・妊娠後期の女性を同行し、他区の福祉につなげ慈愛寮に入所でき、10日に無事に出産しました。

★3月 8日・活動ニュースの印刷作業を新宿区社会福祉協議会で行い、みなさまに発送しました。

★3月 9日・助産師スタッフとお世話になった、あしたのいえの部屋を清掃し返還しました。

★3月 11日・お世話になっている就労支援 JADE と、本人も交えて今後の支援についてオンライン会議をしました。

・歌舞伎町夜間パトロールと相談所に、東京ワセダロータリーアクト代表の鈴木宏美さんが見学されまし

・就労支援事業所 JADE とオンラインで個別ケース会議を本人も参加して行い今後の支援方針を話しました

★3月 12日・助産師スタッフ、橋本クリニックス経営に受診同行しました。

★3月 13日・メール相談でつながった若年女性を助産師スタッフがジャスミンレディースクリニックス新宿院に同行受

★3月 15日・10日に出産した母子の退院支援を行い、慈愛寮に同行し他区の福祉担当者も本入所手続きをしました。

★3月 16日・慈愛寮で、支援団体と一緒に面談し入院費等の清算の振込手続きを援助しました。

・西早稲田リサイクル活動センターからフードドライブの食品を頂き、若年母子家庭と困難家庭に発送

★3月 17日・母子寮を訪問して食品を届け母子面談をしました。

★3月 19日・相談スタッフ定期勉強会をオンラインで行いました。

★3月 22日・来年度の講師打ち合わせをオンラインで行いました。

★3月 25日・毎週末（金・土）に相談所を開設するために借りしている駆け込み寺の玄秀盛氏と面会しました。

★3月 26日・シェルター一泊り定期来所相談をしている女性が、職場の昇格試験を頑張ったお祝いを行いました。

★3月 29日・助産師スタッフが、根津谷中レディースクリニックスに受診同行をしました。

★3月 30日・他区の福祉担当者と、慈愛寮で母子面談を行い今後について本人の意思確認をしました。

・歌舞伎町夜間パトロールで相談してきた若年女性をジャスミンレディースクリニックス新宿院に同行受診

★3月 31日・母子に同行して、さいたま市立病院に発達検査の同行支援をしました。

● 2022年 3月の相談活動件数

- ★ 新規相談者数 → 23人 ☎ 15件（男性から4件も含む） ・メール8件
- ☎ 電話相談対応活動件数 → 190件 ・メール（LINE・SMS含む）相談対応活動件数 → 2, 111件
- ◆ 同行・面談支援活動件数 → 33件
- ◆ 新規相談者の年齢 → 16歳-3件・17歳-1件・18歳-5件・19歳-1件・20歳-1件
・21歳-1件・22歳-2件・24歳-1件・25歳-1件・28歳-2件
・29代-1件・不明-4件
- ◆ 3月中の連携関係機関 → 17機関 ・要保護児童対策協議会に基づく機関連携→5回
- 2016年5月～2022年3月末までの相談活動件数
◆ 新規相談者数=1, 368人 ◆ 相談活動延べ件数（電話=6, 418件・メール=4, 257件）
◆ 面談及び同行支援=994件

歌舞伎町夜間パトロールと相談所事業

—若年女性の安全安心を守り、生活再建に寄り添い伴走—

特定非営利活動法人

10代・20代の妊娠SOS新宿—キッズ&ファミリー—

1

私たちがめざす、事業目的

虐待やDV、貧困等の養育困難家庭に育ち、家や学校、地域に居場所を失くし歌舞伎町で生活せざるを得なくなっている若年女性たちを、



性被害や性暴力、望まない妊娠、あらゆる犯罪から守り、行政など必要に応じた支援につなげ伴走しながら生活の立て直しを支える。

2

歌舞伎町をさまよう若年女性の背景

- ・ 幼少期から虐待を受けて育ったり、貧困や養育困難の中で育ち、親との関係性が悪く家出をしたり、親や交際男性のDVから逃げて歌舞伎町を彷徨う中で、望まない妊娠。
 - ・ アパートを借りるお金も無く、ネットカフェや漫画喫茶で寝起きするお金も無くなると、SNSやサイトで知り合った男性の部屋を転々とするようになり、ほぼ全員が男性からの性暴力やDVを受けている。
 - ・ 養護施設を巣立ち一人暮らしをしている中で、妊娠や出産、中絶後等に、経済的に困窮し住まいを無くした若年女性。
- ↓
- ・ 信頼できる大人が周囲にいない。諦めと自己否定で「助けて」が言えない
 - ・ 相談窓口と相談手段を知らない

3

私たちは、赤ちゃんの命も女性の将来も守りたい！

誰にも相談できず、歌舞伎町のマンガ喫茶で墜落出産し、
遺体をコインロッカーに(2017年)



4

補導や逮捕の処罰だけでは解決しない。

社会保障につなげてくれる人、

寄り添って伴走してくれる人、

信頼できる大人との出会いを求めている。

5

私たち法人のソーシャルワークの実績とノウハウを駆使して寄り添い伴走
「相談窓口を開設した2016年12月末から2022年5月末までの活動状況」

- ★ 新規相談者数 → 1,402人(1人に対する平均対応回数 → 37回)
自立して社会復帰するまで、継続支援が必要。3年、5年の長期支援も)
- ☎ 電話相談: 夜18時 ~ 24時 年中無休 対応延べ件数 → 6,723件
- ✉ メール相談: 24時間 年中無休 対応延べ件数 → 44,865件
- 🚶 訪問相談・同行支援等: 年中随時 対応延べ件数 → 1,045件
- ★ 自立に向けた生活指導・育児支援・就労支援・学習支援・受診同行・警察同行等は、年未年始、夜間も対応。
- 🏠 シェルター一泊宿りを運営。困窮し住まいを失った若年妊婦を一時保護。安全安心を保障し行政支援につなげる。

6

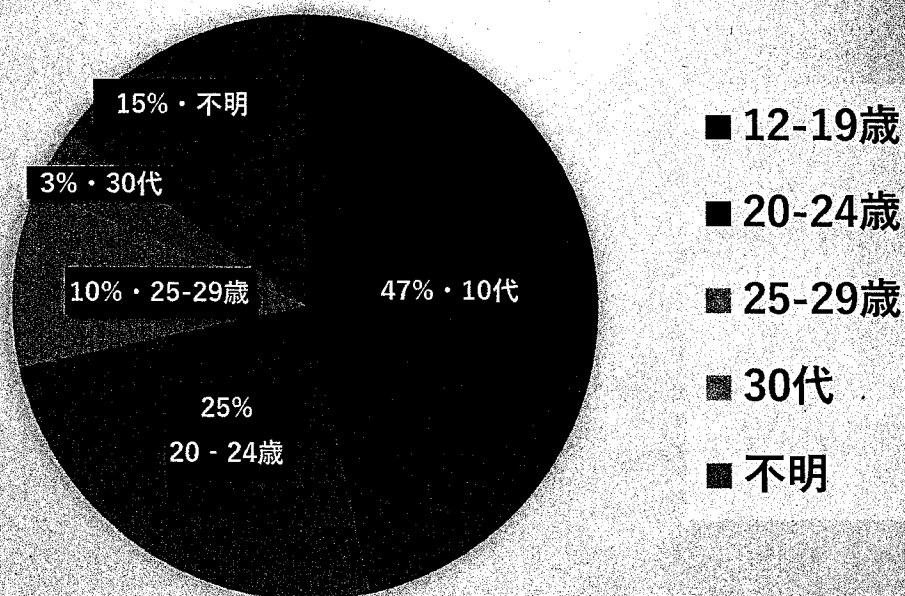
毎月実施している相談スタッフミーティング

オンラインと対面@シェルターの両方で実施。

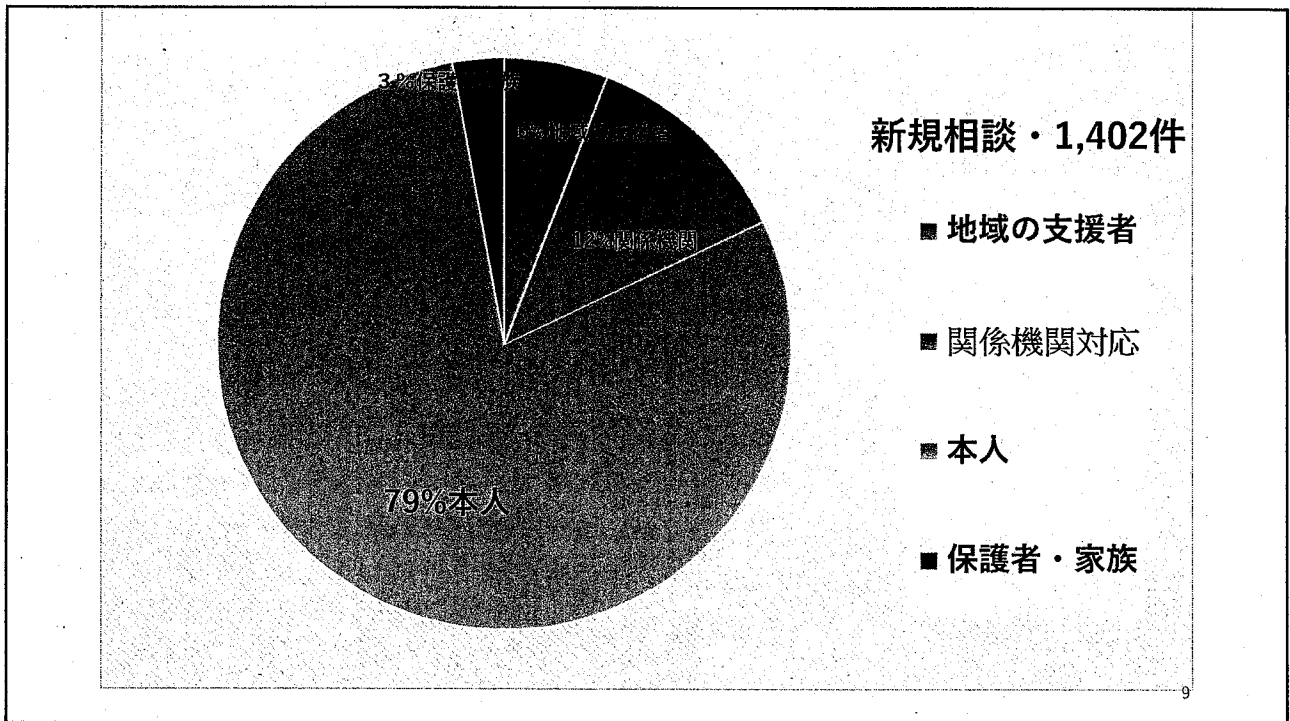


7

本人からの新規相談・1,108件・年齢別



8



2022年1月から毎週金曜日と土曜日に再開した
歌舞伎町夜間パトロールと平行して、相談所を
午後8時から12時まで開所

週末の歌舞伎町
をパトロール中

相談所では軽食
やお菓子も提供

10

2022年7月1日～2023年3月31日に79回実施 (毎週末金曜日と土曜日に実施)

2022年1月29日～5月31日までの実績

- ・実施回数 : 62回
- ・パトロール参加人数 : 312人
- ・パトロール中の声掛け人数 : 345人
- ・相談所来所人数及び同行支援対応延べ人数 : 368人

女性たちが受けている被害や抱える課題

- ・全員がDV被害 → 警察やシェルター避難
- ・路上で、わいせつ行為をされ相談所に逃げ込む
→ 警察に対応をしてもらう。
- ・連休の夜に体調が悪化して助けを求めて来所
→ 夜間のコロナ対応。
- ・受診費用が無く体調をくずしても未受診
→ 受診同行支援。医療費支援。
- ・生活苦で食事が1食、住まいが無い
→ 食糧支援、福祉事務所等に同行
- ・生活の立て直し → 就労体験・就労支援。

11

夜間パトロールで、相談窓口の周知と 顔の見える関係作り

- ・多い人数で練り歩くパトロールは、困っている度合いが高いほど相談しにくい。
→ 少人数でさりげなくグッズやチラシを手渡し声をかける。
- ・パトロールの時に、心配な女性に声をかけたり、相談所に案内し相談支援を行う。
- ・季節に応じたグッズ(リップクリーム・ハンドクリーム・ホッカイロ・生理用品・アルコール除菌シート等)と、法人の相談窓口紹介のカードを入れて手渡し、相談窓口を周知。
- ・店舗、ネットカフェ、行政施設等のトイレに、シール式チラシ、カードの掲示依頼

12

相談支援において私たちが大切にしていること

- ・一人ひとりのあるがままを受け止め、信頼関係の構築を優先。
- ・困っていることを、とことん傾聴する。
- ・安心して泣ける関係づくり。
- ・信頼関係がない時に、否定や指導をしない。
- ・本人が考えられるように制度や情報を提供し、自己決定を大切にする。
- ・本人が出した結論を支える。
- ・支援者の価値観や常識のフィルター越しに女性たちを見ない。
- ・「〇〇をして当たり前」は✖。本人が頑張った小さなことを認める。

13

ご清聴、ありがとうございました。

14

memo

～新宿区協働推進基金～

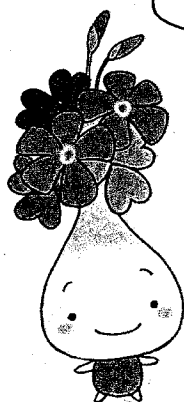
区民の方・事業者の皆さんからのご寄附を基金として積み立て、NPO等の非営利の団体が行う区民のための社会貢献活動に助成を行っています。（本助成もこの基金から助成を行っています）。

新宿区では、活動を支援するためにご寄附の受付を行っています。基金へのご寄附は税制上の優遇措置（寄附金控除）が受けられます。詳しくは、管轄の税務署・お住いの区市町村の税務担当課にお問い合わせください。

ご寄附をいただける方は地域コミュニティ課管理係（5273）3872までお問い合わせください。寄附金を直接、地域コミュニティ課管理係またはお近くの特別出張所窓口にお持ちいただくこともできます。

社会貢献活動のご興味があってもなかなか時間がとれず、参加ができない方等にも基金を通じて社会貢献ができる制度です。是非お気軽にお問い合わせください。

NPO等の先駆性や専門性を活かした事業に助成し、区民の皆さまが暮らしやすいまちづくりを目指します！



新宿区地域振興部地域コミュニティ課
管理係

TEL:03-5273-3872 FAX:03-3209-7455

URL: <https://www.city.shinjuku.lg.jp/>